あいづっこ読書活動推進計画

読書が育む大きな力

本はみんなの応援団

令和３年３月

会津若松市

はじめに

本市では、人口減少に歯止めをかけ、少子高齢化による課題を解決していくため、地方創生の推進とともに、ICT（情報通信技術）をさまざまな分野で活用する「スマートシティ会津若松」の取組を進めています。これまで、知りたいことに応じて情報が届くデジタル情報プラットフォーム「会津若松＋（プラス）」の構築や、母子健康手帳の電子化、スマートアグリによる農産物の品質と生産性の向上、さらには、リアルタイムで除雪車の位置や運行状況を確認できる「除雪車ナビ」の導入などにより、ICTを活用した市民生活の利便性向上を図ってまいりました。

一方、近年においては、子どもたちが、スマートフォンやインターネットなどの利用時間の増加により、あらゆる分野の多様な情報に触れることが容易になっている反面、視覚的な情報と言葉の結びつきが希薄になり、文章の構造や内容を的確に捉えながら読み解くことが少なくなってきているとの指摘もあります。

また、新学習指導要領では、精査した情報を基に自分の考えを形成し表現するなどの「新しい時代に必要となる資質・能力」を育むために、学校図書館の計画的な利用と機能の活用、並びに児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することが明記されました。

ICTの進展と読書活動は一見相反するように見えますが、子どもの読書活動が育む言葉や感性、豊かな表現力や創造力は、「新しい時代に必要となる資質・能力」の礎であり、本市の政策目標の1つである「未来につなぐひとづくり」の実現のうえでも欠かせないものと認識しております。

本市では、これまで『会津若松市子ども読書活動推進計画』に基づき、子どもの読書活動の推進に取り組んでまいりました。第二次計画期には、移動図書館の運行拡大や4か月児健康診査時における「ブックスタート事業」の実施、市立小・中学校全校への学校図書館支援員の配置など、子どもの読書環境の整備を着実に進めてきました。

このたび、第三次計画として『あいづっこ読書活動推進計画』を策定いたしましたが、今後も、子どもたちが、読書の楽しさを知り、生涯にわたる望ましい読書習慣を身につけられるよう、家庭、地域、学校等の連携のもと、発達段階に応じた読書活動を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年3月

会津若松市長　室井照平

あいづっこのみなさんへ

魔法学校に入学した子どもたちがどんな１日を過ごすのか、みなさんは知っていますか？ 南極はどんなところか知っていますか？ 世界にはどんなおまつりがあるか知っていますか？

困ったとき、何かを調べたいとき、たいくつなとき、今いる世界とは別の世界に行きたいとき、何かを見つけたいとき…本を読んでみませんか？

そこには今まで知らなかった「ドキドキ」や「ワクワク」、「ほんわか」や「知って得する何か」が隠れているかもしれません。

本の中は自由です。

そこで見つけたものを誰かに話したりするのも、そーっと自分だけの秘密にしておくのも、あなたが決めていいのです。

自分の心の声をよく聴いて、どうしたいのか、どうするのか決めていく。そんな小さな積み重ねが、心の成長につながるのかもしれません。

まずはちょっとだけ、本を開いてみませんか？

あいづっこを見守る大人の皆さんへ

この計画は、子どもたちに本を読む楽しさを知ったり、思い出したりしてほしいな、というところから始まっています。

自分で読むのはちょっと苦手でも、誰かに本を読んでもらったり、お話を聞いたするのは大好き、という子も（大人も）たくさんいます。そういう子には、読み聞かせや紙芝居から始めてみてはどうでしょう。

前はよく読んでいたけど、最近全然読んでないな、という子には、さりげなく本を近くに置いておいたり、わたしたち大人が本を読む姿を見せてみてはどうでしょう。

子どもの「好き」を大切に育て、毎日の生活の中に歯磨きや食事のように、ごく普通に読書の時間が組み込まれていたら素敵だな、と思います。

なぜなら、読書は、子どもたちの言葉を豊かにし、心を育み、さまざまな視点を与え、やがて自分で疑問に思ったことを調べたり、問題解決のヒントを得たりすることにつながっていくと思うからです。

この地で、豊かな心を持ち、自分の力で考え行動できる子どもが育っていくこと、そしてその子どもたちがやがて、子どもたちを見守る素敵な大人になっていくことを願いながら、子どもたちがいつでも好きなときに読書を楽しめる環境を作っていきたい、と考えたのがこの計画です。

あいづっこの未来のために、一歩一歩進んでいきましょう。

目　　次

	ページ
あいづっこ読書活動推進計画概要	1
子どもの発達段階に応じた読書活動の主な取組	2
第１部　第三次計画策定にあたって	3
第１章　基本的な考え方	3
１　計画策定の背景	3
２　計画の基本的な考え方	5
３　計画の期間	5
第２章　前計画における取組状況と成果	6
１　家庭における読書活動の推進	6
２　図書館(公民館）等における読書活動の推進	9
３　保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進	14
４　学校における読書活動の推進	16
５　支援を必要とする子どもの読書活動の推進	18
第３章　読書調査・アンケート結果から見た子どもの読書の現況	20
１　読書に関する調査・アンケート結果（抜粋）	20
２　会津図書館の貸出状況	32
第２部　第三次計画の基本方針と施策	33
第１章　前計画とアンケート等から見えた課題	33
１　家庭における読書活動の推進	33
２　図書館等における読書活動の推進	33
３　保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進	34
４　学校における読書活動の推進	34
５　支援を必要とする子どもの読書活動の推進	35
第２章 基本方針と施策	36
基本方針１　読書に親しむ機会の充実	38
１ 家庭における読書活動の推進	38
２ 図書館（公民館）等における読書活動の推進	40
３ 保育所･認定こども園･幼稚園等における読書活動の推進	44
４ 学校における読書活動の推進	46
５ 支援を必要とする子どもの読書活動の推進	47

基本方針２　読書環境の整備と充実 48
１ 家庭における読書環境の整備・充実 48
２ 図書館（公民館）等の整備・充実 49
３ 保育所・認定こども園・幼稚園等における読書環境の整備・充実 52
４ 学校図書館の整備・充実 53
５ 支援を必要とする子どもの読書環境の整備・充実 56

基本方針３　読書活動についての理解の促進 57
１ 広報・啓発 57

第３章 計画の推進に向けて
１　関係機関・団体との連携 60
２　計画の推進体制と進行管理 60
３　第三次計画【指標（数値目標）】 61

【資料編】
１　子どもの読書活動の推進に関する法律 62
２　「第三次計画」策定の経過 64
３　会津若松市子ども読書活動推進計画策定庁内検討会設置要綱 65
４　会津若松市子ども読書活動推進計画策定市民懇談会開催要綱 67
５　会津若松市子ども読書活動推進計画策定市民懇談会委員名簿 69
６　「第三次計画」策定に係るアンケート結果 70

あいづっこ読書活動推進計画
～読書が育む大きな力　本はみんなの応援団～

計画期間　令和３～７年度

第二次計画における主な成果と課題

成果

○ 読み聞かせや家読に取り組む家庭が増え、読書活動の推進が図られました。

「０才からの絵本スタート」の割合
　Ｈ26 年度 59% → Ｒ元年度 61%
「読み聞かせ」実施の割合 年中児保護者
　Ｈ26 年度 83% → Ｒ元年度 87%
「家読」実施の割合 小学２年生保護者
　Ｈ26 年度 42% → Ｒ元年度 47%
「家読」実施の割合 中学２年生保護者
　Ｈ26 年度 19% → Ｒ元年度 26%

○ 学校図書館においては、５年前と比較し、ボランティアが参画している学校数が増え、司書教諭や学校図書館支援員を中心に整備が進められました。

図書館ボランティアが参画している学校数
小学校全 19 校中
　Ｈ26 年度 ９校 → Ｒ元年度 17 校
中学校全 11 校中
　Ｈ26 年度 １校 → Ｒ元年度　６校

現況と課題

■ 学年が上がるにつれ、本を読まない子どもの割合が増加。
特に高校生の読書離れが顕著。

■ 読書を敬遠し、ゲームを好む中学生や、読書への関心が低く、勉強・部活動などで余裕がない高校生の割合が高い。

■ 障がいのある子どもとその保護者については、読書や読み聞かせに取り組む割合が減少。

今後の対応

◆ 保護者に対する、家読の実践方法についての広報啓発

◆ 中高生の読書活動推進に結び付く取組の実施

◆ 小・中学校図書館における図書の充実と、興味関心を高める環境整備の工夫

◆ 学校図書館ボランティアとの連携による読書活動の推進

◆ 障がいのある子どもへの読書機会の提供

第三次計画の基本的な考え方・具体的施策

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの
（「子どもの読書活動の推進に関する法律」より）

基本方針１　読書に親しむ機会の充実

1 家庭における読書活動の推進
2 図書館（公民館）等における読書活動の推進
3 保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進
4 学校における読書活動の推進
5 支援を必要とする子どもの読書活動の推進

推進の方策

◇「家読」の実践
◇「調べる学習コンクール」「ビブリオバトル」等の読書イベントの開催
◇ 絵本の貸出や園行事への活用
◇「朝読」活動の充実、「メディア・コントロールデー」の実施による「家読」の推進
◇ 外国語による絵本の読み聞かせやおはなし会の開催

【数値目標】小中学生の１か月間の平均読書冊数
…小学生　14.0 冊、中学生　4.2 冊

基本方針２　読書環境の整備と充実

1 家庭における読書環境の整備・充実
2 図書館（公民館）等の整備・充実
3 保育所・認定こども園・幼稚園等における読書環境の整備・充実
4 学校図書館の整備・充実
5 支援を必要とする子どもの読書環境の整備・充実

◇「０歳からの絵本スタート」の実践・ブックスタート事業
◇ 図書資料の整備と充実、子どもに親しまれる環境づくり、移動図書館の運行、「読み聞かせ講座」の開催
◇ 絵本コーナーの整備・充実、職員研修会の開催による人的環境整備
◇ 学校図書の蔵書の充実・整備、学校図書館支援員の配置、学校図書館の整備
◇ 体験を伴う図書や様々な言語で書かれた図書の充実、マルチメディアデイジー図書の導入

【数値目標】 マルチメディアデイジー図書
…再生機器１台、図書 30 点
学校図書標準を達成している学校数
…小学校　19 校、中学校　11 校

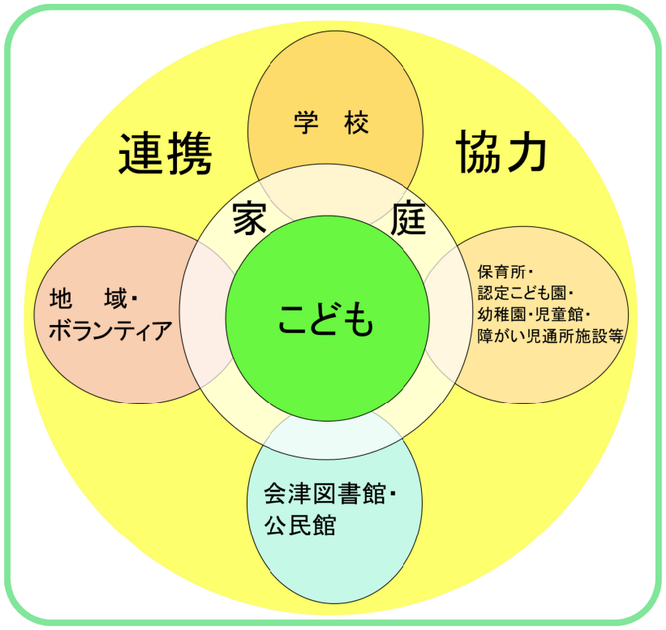
基本方針３　読書活動についての理解の促進

1 広報・啓発

◇ 広報紙の発行・配布、ホームページやSNSによる情報の発信
◇ 園だよりやクラスだよりでの読書活動の推進
◇「メディアコントロール週間」の実施

【数値目標】 １年間に４回以上読書活動啓発を実施した園の割合… 75 %

推進体制づくりのためのネットワーク



計画の進行管理

会津若松市子ども読書活動推進連絡会
・・・ 進捗状況確認
会津図書館協議会
・・・ 報告

ホームページ公表 （取組状況/意見等）

子どもの発達段階に応じた読書活動の主な取組

～生涯にわたる読書活動に向けて～

各発達段階における本との関わり		読書活動の取組	心の栄養・育つ力
乳児期 （０歳）	本と出会う	・０歳からの絵本スタート ・読み聞かせ ・赤ちゃんおはなし会等への参加	ぬくもりを感じる幸せな時間 親子の絆・スキンシップ 信頼感を持つ
幼児期 （1～６歳）	本に親しむ	・家読（うちどく） ・読み聞かせ ・身近に絵本がある生活 ・おはなし会等への参加	楽しい時間 言葉の発達を促す 感受性を育てる 想像力を育てる
小学校期 （７～12歳）	本をたくさん読む	・家読（うちどく） ・朝読（あさどく） ・読み聞かせ ・ブックトーク ・読書感想文 ・調べ学習 ・読書日記	楽しい時間 豊かな人間性 読む力 考える力 まとめる力 問題や悩みの解決
中学校期 （13～15歳）	本を選んで読む	・家読（うちどく） ・朝読（あさどく） ・ビブリオバトル ・調べ学習	豊かな時間 思考力 判断力 探求心 表現力 プレゼンテーション能力 問題や悩みの解決
高校期 （16～18歳）	本を読んで人生に対する考えを深める	・家読（うちどく） ・ビブリオバトル ・探求学習	豊かな時間 社会性 論理的思考力 探求心 表現力 プレゼンテーション能力 問題や悩みの解決

第Ⅰ部　第三次計画策定にあたって

第Ⅰ章　基本的な考え方

Ⅰ　計画策定の背景

国の動向

国は、平成13年12月に、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とした「子どもの読書活動の推進に関する法律※1」を施行しました。

この法律に基づき、平成14年８月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、以降、平成20年３月に第二次基本計画、平成25年５月に第三次基本計画、さらに、平成30年４月には「発達段階ごとの効果的な取組を推進」し、「友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実」することなどを主な改正点とした第四次基本計画が策定されています。

また、平成26年６月の学校図書館法の一部改正では、専ら学校図書館の職務に従事する職員を学校司書と位置付け、学校司書の設置※2に努めることとしました。

さらに、平成29年・30年の学習指導要領の改訂で、言語活動の充実や学校図書館の利活用や自発的な読書活動の充実などが規定されたほか、令和元年６月には「すべての国民が障害の有無に関わらず読書を通じて文字文化を楽しめる社会の実現」を目的にした「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」も公布、施行されました。

※１　**子どもの読書活動の推進に関する法律**　：　【資料Ⅰ】参照

※２　**学校司書の設置**　：学校図書館法の一部改正により「学校には、学校司書を置くように努めなければならない」とする法律が、平成26年6月27日公布、平成27年4月１日から施行されました。

県の動向

福島県は、平成16年３月に「福島県子ども読書活動推進計画」（第一次県計画）を、平成22年３月には第二次県計画、平成27年２月に第三次県計画を策定し、様々な取組を進めてきました。なお、この間に、県内全ての市町村において子ども読書活動推進計画が策定されており、全県的に子どもの読書活動の推進に向けた取組体制が整いつつあります。

さらに、令和２年２月には、第三次県計画に引き続き「ふくしまの未来をひらく　読書の力」を基本理念（スローガン）とした第四次県計画が策定されました。第四次県計画では、「子どもが読書に親しむ機会の充実のために」「子どもの読書環境の整備と充実のために」「子どもの読書活動についての理解の促進のために」の三つを基本方針とし、推進の方向性と具体的な取組を示しているところです。

本市の取組

会津若松市においては、本市のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境整備を推進し、総合的に読書活動推進に関する施策を進めることを目的として、平成23年４月から平成28年３月までの５か年を計画期間とした「会津若松市子ども読書活動推進計画」（以下「第一次計画」という。）を策定しました。さらに、平成28年３月には、第一次計画の成果と課題等を検証し、子どもの生涯にわたる読書活動の充実を目指した「第二次会津若松市子ども読書活動推進計画」（以下「第二次計画」という。計画期間：平成28年４月から令和３年３月まで）を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

近年、スマートフォンやＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の普及等により子どもの余暇時間の使い方が変化していることや、学年が上がるに連れ読書離れの傾向にあること、また、読解力の低下などが憂慮されるとともに、読書の重要性が認識されてきているところです。

このような子どもの読書活動をとりまく現状を踏まえながら、引き続き本市のすべての子どもの読書活動を推進し、誇りと自信をもって未来へ羽ばたく子どもたちを育てるため、第三次会津若松市子ども読書活動推進計画を策定し、その名称を「あいづっこ読書活動推進計画」（以下「第三次計画」という。）とします。

なお、本計画は、ＳＤＧｓ（エスディージーズ／持続可能な開発目標）の17の目標のうち、次の目標達成に寄与するものです。

3…あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

4…すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

2　計画の基本的な考え方

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

本市のすべての子どもが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書習慣を確立できるよう、そのための環境整備を推進し、読書活動推進に関する施策を総合的に進めることを目的とします。

3　計画の期間

本計画は、令和３年度から令和７年度までの５年間とします。

第２章　前計画における取組状況と成果

Ⅰ 家庭における読書活動の推進

【主な取組】

（１）「家読（うちどく）」の実践

・　健康福祉部と教育委員会が連携し、「家読」の実践について、各家庭へ働きかけを行いました。

・　令和元年 12 月に実施した子ども読書活動アンケート（以下、「今回アンケート」という）では、小学２年生保護者、中学２年生保護者のいずれにおいても、11 月の１か月間に１回以上「家読」を実施した割合が、平成 26 年度に実施したアンケート（以下、「前回アンケート」という）結果よりもやや伸びており、「家読」に取り組む家庭が増えている様子が伺えました。

（２）「０歳からの絵本スタート」の実践

・ブックスタート事業の活用

こども家庭課と健康増進課、会津図書館にて連携し、４か月児健康診査時に乳児とその保護者を対象としたブックスタート事業を実施しました。５冊の中から選んでいただいた絵本１冊をプレゼントし、ボランティアによる読み聞かせを実際に体験いただくことで、その心地よさや乳児期からの読み聞かせの大切さを保護者に伝える機会としました。

今回アンケート結果では、子どもへ絵本の読み聞かせを始めた時期を「１歳未満」と回答した割合が、前回アンケート結果をやや上回っており、内訳を見ると、０～６か月の時期に読み聞かせを始めた保護者の割合が増えています。乳児期より読み聞かせを始める家庭が増えていることがわかりました。

・家庭の読み聞かせの時間づくり

今回アンケート結果では、子どもへ絵本の読み聞かせを行っていると回答した年中園児保護者の割合が前回アンケート結果をやや上回り、中でも、「毎日読む」と回答した家庭が増えています。

（３）「読書関連イベント」への参加

・読書についての広報紙、情報紙の活用

会津図書館において、学校や保育所・認定こども園・幼稚園、通所施設を通じて各家庭へチラシを配布し、各種おはなし会や絵本の音楽会等の読書関連イベントへの参加を呼びかけました。

また、小学生を対象とした図書館の本を利用して調べる学習に取り組む「会津図書館を使った調べる学習コンクール」については、学校を通じたチラシ配布や「調べる学習講座」の案内、中高生を対象とした、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介する「会津ビブリオバトル」については、学校へのチラシや、出前講座の案内など、応募者・参加者の募集を行いました。

【指標（数値目標）】　（会津図書館調べ・アンケート結果）

項　　目	現　況　値 （平成 26 年度）	達成状況 （令和元年度）	目　標　値 （令和２年度）
「０才からの絵本スタート」の実施割合	５９％	６１％ ＜	７０％
「読み聞かせ」実施の割合 年中園児 保護者	８３％	８７％ ＜	９０％
「家読」実施の割合 小学２年生 保護者	４２％	４７％ ＜	６０％
「家読」実施の割合 中学２年生 保護者	１９％	２６％ ＜	４０％

※現況値については、平成 26 年度会津図書館実施アンケートによる数値であり、最終目標値に対する達成状況については今回アンケート実施による数値となる。

会津ビブリオバトル決戦での発表（中学生の部）

指標については、目標値に達しませんでしたが、４項目すべてにおいて増加の傾向が見られました。

ブックスタートでは、乳幼児期から子育てに絵本の読み聞かせを取りれることの大切さを入れる多くの保護者へ伝えることができました。

また、ブックスタートをきっかけに会津図書館を訪れる乳児と保護者が増えており、「赤ちゃんおはなし会」をはじめとした各種おはなし会への参加にも結び付いています。

生涯にわたる読書習慣形成のため、関係機関やボランティアの連携のもと、これらの取組を継続していくことが必要です。

図書館見学の様子（小学生）

「ブックスタート事業」での絵本の読み聞かせの様子

２ 図書館（公民館）等における読書活動の推進

【主な取組】

◆会津図書館

（１）各種事業・イベント等の開催

・　小学生を対象とした「会津図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、図書館の本を利用して調べる学習に取り組んだ作品を募集しました。地域コンクールや全国コンクールの受賞作品の複製の展示や、「調べる学習コンクール支援セット」の整備・貸出を行った他、公民館事業と連携した「調べる学習体験講座」を開催し、子どもが主体的に学ぼうとする意欲の醸成と、情報を活用する力の養成に取り組みました。

・ 中高生を対象に、本を読んで感じた思いや魅力などを紹介する「会津ビブリオバトル（知的書評合戦）」を開催しました。ビブリオバトルの取り組み方を教える「ビブリオバトル出前講座」や、ビブリオバトルで紹介した本の展示なども行い、読書活動の充実と思考力・表現力の育成、プレゼンテーション能力の向上を図りました。

・ ボランティア団体や「子ども読書活動支援ボランティア」と協力し、定期的なおはなし会、昔語り等を開催し、読み聞かせの楽しさを味わう機会を提供しました。また、會津稽古堂多目的ホールを利用し、スクリーンに絵本を映写して朗読と生演奏を楽しむ「絵本の音楽会」や、図書館所蔵の子ども向け視聴覚資料を上映する「ライブリックシアター」を実施し、物語の楽しさや読書への興味を広げるきっかけを作りました。

・　子どもに対する読み聞かせの大切さや実践のポイントを教える「読み聞かせ講座」を開催し、学校や地域で読書活動を実践、支援するボランティアの養成を図りました。また、受講生から「子ども読書活動支援ボランティア」を募集し、実践の場の提供に努めました。

（２）読書活動の普及・啓発

・　保護者と子どもが家庭で読書に親しみ、家族間のコミュニケーションを深める「家読」について、「家読のススメ」の発行や「こどもとしょかんだより」への記事掲載、こどもとしょかん内での企画展示を行い、広報に努めました。

・　４か月児健康診査時にブックスタート事業を実施し、乳児とその保護者にボランティアによる読み聞かせを体験いただき、５冊の中から選んでいただいた絵本１冊をプレゼントすることで、乳児期からの読み聞かせの大切さを伝え、取組のきっかけを作りました。

・　小学校就学時健康診断の家庭教育講座においては、図書館の利用案内や「家読のススメ」の配布を依頼し、保護者に対して、読書の重要性を啓発するとともに、「家読」への取組を働きかけました。

・　小学生を対象としたブックリスト（「おすすめの本」）を、低、中、高学年に分けて作成し、小学校や図書館の利用者へ対し、配布を行いました。

・　ティーンズコーナーにおいて年２回、「中高生のおすすめの本」として、市内の中学校や高校の図書委員が選んだ本とポップを展示しました。また、来館した中高生がお気に入りの本の紹介カードを書き、ティーンズコーナー備え付けのファイルに綴ってみんなと共有する「Our Book（アワー ブック）」の取組や、中高生の要望に対する図書館の回答を載せたファイル「YA VOICE（ヤ ヴォイス）」の設置を行いました。

・　４か月児、１歳６か月児、３歳６か月児の乳幼児健康診査会場及び７か月児離乳食教室において、年齢別「ブックリスト」の配布を行い、「０歳からの絵本スタート」の広報啓発を行いました。また、こどもとしょかんに赤ちゃん向け絵本コーナーを設置する他、おはなしのへやにおいて、０歳児から３歳児を対象とした「赤ちゃんおはなし会」を定期開催し、乳児期から読み聞かせを始めるための広報や支援を行いました。

・　こども園や小学生の見学、中高生の職場体験を受け入れることで、図書館を身近に感じ、読書に親しむきっかけとしました。

（３）学校図書館等の支援

・　小中学校の保護者や、学校支援活動を行う地域の方を対象とした「学校図書館ボランティア養成講座」を開催し、活動の基礎的な知識や技術を学んでいただくことで、各学校図書館で活動するボランティアの養成に努めました。

・　会津図書館奉仕員が小中学校図書館を巡回訪問し、「学校図書館管理マニュアル」に則り、司書教諭や学校図書館支援員へ学校図書館管理の助言・支援を行いました。また、ラベルの大幅な作成や貼替等、学校図書館の環境整備作業の補助も行いました。

【学校図書館環境整備実施校】

実施年度	学校名	整備内容
平成 30 年度～	河東学園小学校	図書のラベル作成・貼替
令和元年度～	永和小学校	図書のラベル作成・貼替

・　遠隔地にある小学校６校（湊・大戸・神指・永和・荒舘・川南）と会津支援学校、聴覚支援学校会津校へ移動図書館「あいづね号」を月１回運行し、読書機会を提供しました。

・　会津図書館職員と会津図書館奉仕員が公民館図書室を巡回訪問し、図書室の管理について助言を行いました。

【指標（数値目標）】　（会津図書館調べ）

項　　目	現　況　値 （平成 26 年度）	達　成　状　況 （令和元年度）	目　標　値 （令和２年度）
こども(18歳まで)の登録者の割合	３４．２％	４９．９％	＞　４０．０％
児童書の貸出冊数	１５９，２７９冊	１６１，２６１冊	＜　１７０，０００冊
中高生への貸出冊数	１５，１１０冊	１５，７４８冊	＜　２０，０００冊

※数値は、会津図書館における登録者数及び貸出冊数による
※登録者の割合については、会津若松市の子どもの登録者数/人口

指標については、「こども（18歳まで）の登録者の割合」においては目標値を上回って達成することができました。「児童書の貸出冊数」「中高生への貸出冊数」については、目標値には届きませんでしたが、数値は増加しており、図書館における子どもの読書活動の推進の成果が見られました。

今後も、会津図書館利用についてのさらなる広報の他、読書離れが懸念される中高生に向けた取組の推進が必要です。

◆公民館図書室

（１）活用しやすい環境の整備と利用促進

・　子どもに読み聞かせができるスペースを設置したり、ソファーや畳敷きのスペースを設ける他、新刊や季節の絵本、読み聞かせに適した本などを掲示するなど、乳幼児と保護者が本に親しみやすい環境を整備し、公民館図書室の利用促進を図りました。

・　中学校の職業体験の中での「図書室業務体験」や主催事業における「オリジナルしおりづくり」などを通して、公民館図書室に触れる機会づくりに努めました。

（２）子ども参加の公民館行事への「読み聞かせ」の取り入れ

・　放課後子ども教室事業など公民館事業において、ボランティアによる絵本の読み聞かせや昔語りを取り入れ、地域の子どもの読書活動の推進を図りました。

（３）「家読（うちどく）」の広報啓発

・　公民館だよりで新刊図書の紹介や図書室の利用案内について周知するとともに、域内への移動図書館「あいづね号」の巡回予定を掲載するなど、各地区公民館で広報に努めました。

【指標（数値目標）】　　（地区公民館調べ）

項　　目	現　況　値 （平成 26 年度）	達　成　状　況 （令和元年度）	目　標　値 （令和２年度）
こども(18 歳まで)の 年間利用人数	１，３５２人	７２２人 ＜	１，５００人
公民館事業で 「読み聞かせ」等を 取り入れた回数	４６回	２４回 ＜	５５回

※地区公民館及び神指分館においての合計。

指標については、共に達成することができませんでした。今後は、公民館図書室の利用や「読み聞かせ」等を取り入れた公民館事業について、いっそうの広報に努め、読書活動の推進を図る必要があります。

北公民館の様子

３ 保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進

【主な取組】

◆保育所・認定こども園・幼稚園

（１）保護者等への「読み聞かせ」の重要性の広報啓発

・　「絵本だより」や園のお便り等の他、子育てセミナーや保護者説明会の際に、親が絵本を読み聞かせする大切さを呼びかけました。

・　「読み聞かせ講座」のチラシを保護者へ配布し、受講を働きかけました。

（２）「家読（うちどく）」の広報啓発

・　「絵本だより」や園のお便り等に、月齢に合わせた絵本の紹介や各家庭の読み聞かせの様子などを掲載し、読み聞かせの楽しさを伝えました。

・　皆でおなじ月刊絵本を購入して読み聞かせを行ったり、園のクリスマスプレゼントで絵本をプレゼントするなど、絵本がある環境を作り、家庭で読み聞かせする機会を提供しました。

（３）未就園児とその保護者への「読み聞かせ」や読書活動の啓発

(子育て支援事業)

・　対面やお便りでの絵本の紹介をしたり、読み聞かせを行い絵本の楽しさを知らせたりして、絵本に親しむ機会を作りました。

・　外部講師による絵本講座を開催し、読み聞かせの大切さや絵本の選び方を学ぶ機会を作りました。

（４）絵本コーナーの充実や、絵本等の所蔵冊数の確保に向けた取組

・　絵本コーナーにある図書を在園児や子育て支援児へ貸し出し、家庭において読み聞かせをする機会を提供しました。

・　絵本コーナーについて、図書をわかりやすく分類したり、会津図書館の新刊とおすすめ絵本を紹介する他、当番の子どもが友達に紹介したい本を１冊掲示するなど、絵本に親しみやすい環境作りを行いました。

・　絵本コーナーへ肌触りの良いカーペットを敷いたり、イスを設置する他、

各クラスにも絵本を配置するなど、子どもがリラックスして絵本を読むことができる環境を整えました。

（５）職員研修会の開催

・　職員研修会を開催し絵本への理解を深め、質の高い絵本の提供を図りました。

◆児童館・こどもクラブ

（１）「絵本の読み聞かせ」や読書タイムの実施による読書活動の啓発

・　幼児クラブや放課後こどもクラブ、児童館の自由来館での活動において、児童への絵本の読み聞かせや読書タイムを実施し、本に親しむ機会を作りました。

・　幼児クラブで、絵本の紹介を行い本への興味関心を広げました。

【指標（数値目標）】　（こども保育課調べ）

項　　目	現　況　値 （平成 26 年度）	達成状況 （令和元年度）	目　標　値 （令和２年度）
お便りによる読書活動啓発を１年間に４回以上実施した園の割合	４９％	４７％	＜　７５％

※平成 26 年度時の対象は、保育園 18 か所、認定こども園 10 か所、幼稚園７か所（市内全園）
※令和元年度時の対象は、保育園 15 か所、認定こども園 15 か所、幼稚園２か所（市内全園）

指標については、目標値を達成することができませんでした。

お便りによる読書活動啓発を１年間に１回以上実施している園は 32 施設中 31 施設となっており、今後は実施回数の増加を目指し、保護者に対する読み聞かせの大切さを伝える取組を充実させ、家庭における読書活動の推進を図ります。

４ 学校における読書活動の推進

【主な取組】

（１）「家読（うちどく）」の広報啓発

・　中学校区ごとに「メディアコントロール」を実施し、児童生徒や保護者がメディアを上手に選択して付き合っていく機会とし、減らしたメディアの時間を活用して、家庭で読書に親しむよう、「家読」の奨励を行いました。

（２）学校図書館の活用しやすい環境の整備

・　小中学校の保護者や、学校支援活動を行う地域の方を対象とした「学校図書館ボランティア養成講座」を広報・周知し、学校図書館ボランティアに必要な基礎的な知識や技術を学んでいただくことで、各学校図書館で環境整備を行うボランティアの養成に努めました。

・　会津図書館と連携して、学校図書館管理の助言・支援を得ながら、環境整備を行いました。

・　平成 29 年度より、小中学校に対して学校図書館支援員の配置を行いました。令和２年度現在、６名の支援員を市内全小中学校へ配置し、読書に親しむ児童生徒の育成や図書館教育支援に努めています。

コラム

「メディアコントロール」を活用して読書習慣の形成を！

「メディアコントロール」とは、家族が相談して実施日を決め、その日はできるだけメディアにふれる時間を、家庭学習や読書、家族の会話等にあてるようにするものです。テレビやゲーム、インターネット等に費やす時間を減らし、家族みんなで家庭での過ごし方を見直すことがねらいであり、市内の全小中学校が、中学校区単位で連携して実施しています。

子どもたちだけではなく、家族みんなでメディアコントロールに取り組むことにより、本を通じた家族のふれあいが増え、家庭の読書習慣の形成にもつながることが期待されます。

（３）「朝読（あさどく）」活動の充実に向けた取組

・　全ての小中学校で、10分程度の朝の読書の時間「朝読」に取り組みました。また、取組にあたっては、「読書記録カード」の活用を図りました。

【指標（数値目標）】　（読書に関する調査及び会津若松市教育委員会調べ）

項　目	現況値（平成26年度）	達成状況（令和元年度）	目標値（令和２年度）
小・中学生の１か月間の平均読書冊数	小学生　１１.６冊 中学生　２．６冊	小学生　９．７冊　＜ 中学生　２．５冊　＜	小学生１４．０冊 中学生　４．０冊
学校図書館図書標準を達成している学校数	小学校　１２校 中学校　７校	小学校　１９校　＞ 中学校　９校　＜	小学校　１５校 中学校　１０校
図書館ボランティアが参画している学校数	小学校　９校 中学校　１校	小学校　１７校　＞ 中学校　６校　＝	小学校　１４校 中学校　６校

※市立小学校19校、市立中学校11校を対象としています。

指標については、小・中学生の１か月間の平均読書冊数は、計画策定前と比較して減少傾向にあり、小・中学生ともに読書冊数を伸ばすため、さらなる取組が求められるところです。

学校図書館図書標準の達成については、小学校は全校達成しており、中学校においても達成校の増加が見られます。今後は小中学校全校の達成を目指し、引き続き図書の充実に取り組むとともに、図書の除籍（廃棄）や補充を適切に行っていく必要があります。

図書館ボランティアが参画している学校数については、小中学校共に目標値を達成しており、特に小学校においては、司書教諭や学校図書館支援員を中心に学校図書館の整備が進められています。今後も整備が必要な学校図書館に対し、必要な助言や作業の補助を行っていきます。

５ 支援を必要とする子どもの読書活動の推進

【主な取組】

子どもが過ごす家庭・学校・保育所・認定こども園・幼稚園・通所施設等において

（１）「家読（うちどく）」の実践や広報啓発

・　会津支援学校や聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設においては、「家読」を推進するため、会津図書館発行の「家読のススメ」を送付し、掲示を行いました。

（２）一人ひとりに合った「読み聞かせ」等の実施

・　保育所や認定こども園、幼稚園においては、一対一で、伝わりやすい言葉を選んで読み聞かせしたり、子どもの好みやこだわりにあった本を準備するなど、落ち着いて読書できるような環境づくりを行いました。

・　会津支援学校や聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設においては、読み聞かせを実施できるボランティアを育成するため、会津図書館主催の「読み聞かせ講座」のポスターを掲示し、また、会津支援学校や聴覚支援学校会津校では、その保護者へのチラシ配布を行いました。

本を貸し出す図書館・公民館等において

（１）図書館・公民館図書室情報（イベント、本の貸出）の広報

・　会津支援学校や聴覚支援学校会津校、障がい児通所施設に対し、会津図書館で行う「季節のおはなし会」（夏・冬・春）や「絵本の音楽会」「外国語のおはなしのへや」のポスターの掲示とチラシの配布を依頼する他、「こどもとしょかんだより」の掲示を依頼し、子ども向け読書イベントやこどもとしょかんの利用について広報を行いました。

・　障がい児通所施設に対し、こどもとしょかんの利用案内や見学申込書、しかけ絵本、大型絵本、手話絵本、点字図書のリストを配布し、会津図書館の利用を呼びかけました。

（２）学校や通所施設等との連携による事業推進

・　会津支援学校や聴覚支援学校会津校と連携して、月１回、移動図書館（あいづね号）を運行し、児童や生徒に対して読書の機会を提供しました。

（３）様々な言語の絵本等の収集や提供

・　会津図書館においては、関係団体と共催で開催する「外国語のおはなしのへや」で取り扱う言語を参考に、英語、中国語、タガログ語、スペイン語、ロシア語など、多様な言語の絵本の収集を行いました。英語については、乳幼児向けの絵本や、日本語と併記されている絵本の収集にも努めました。

・　しかけのある絵本やさわる絵本、点字絵本の収集に努め、体験の伴う絵本の整備に取り組みました。

【指標（数値目標）】　（会津図書館調べ・アンケート結果）

項　　目	現況値 （平成 26 年度）	達成状況 （令和元年度）	目標値 （令和２年度）
障がいのある子どもを対象としたおはなし会開催回数	０回	０回	＜	６回
子どもと保護者が一緒に読書をした（家読の）割合	５１％	３２％	＜	６０％

指標のうち、会津図書館における「障がいのある子どもを対象としたおはなし会」の実施は、平成 29 年度の１回でした。なお、関係団体へは定期的な広報や働きかけを行いました。

子どもと保護者が一緒に読書をした（家読の）割合は、前回のアンケート時に比べて数値を落とし、目標値の約半分といった結果になりました。

今後は、より一層会津図書館等の利用や催し等について広報に努めるほか、支援の必要な子どもに対する幅広い読書活動の提供をしていく必要があります。

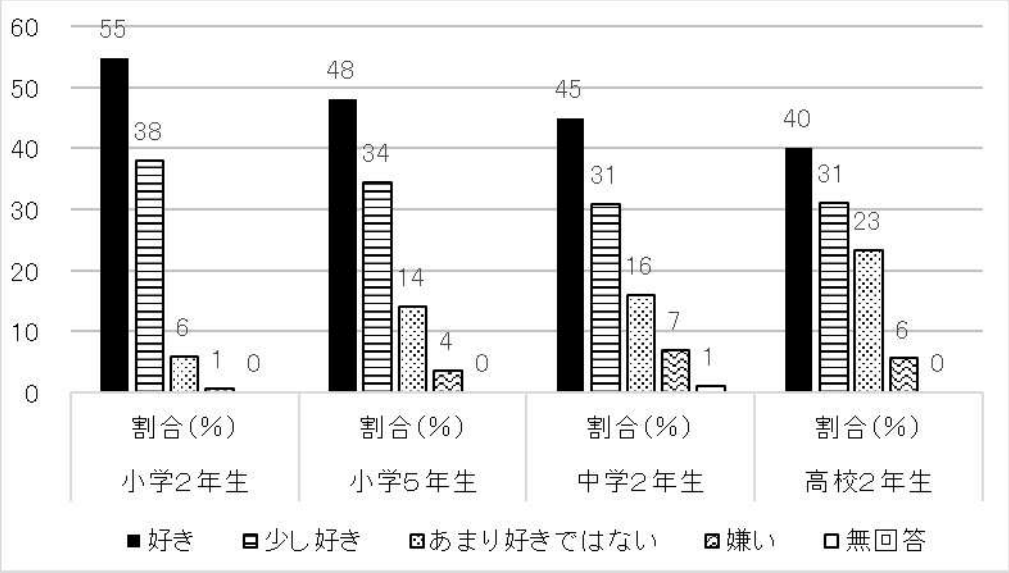
第３章　読書調査・アンケート結果から見た子どもの読書の現況

Ⅰ　読書に関する調査・アンケート結果（抜粋）

※「読書に関する調査」「アンケート結果」ともに、令和元年11月の1か月間を調査対象期間として実施。

設問　「本への興味」より

○あなたは本を読むことが好きですか。



・　調査対象のどの学年でも、本に対して肯定的な感情を持つ人が大半を占めました。特に、下の学年の児童生徒ほど、読書を「好き」または「少し好き」と答えた割合が大きくなりました。

○読んだ本について、誰かに話しますか。　（複数回答有）

	小学２年生	小学５年生	中学２年生	高校２年生
家族に話す	32%	29%	13%	16%
友達に話す	33%	33%	39%	31%
話さない	31%	35%	46%	52%

・　読んだ本については、小学２年生は、多い順に、「友達に話す」、「家族に話す」、「話さない」となっています。

・　小学５年生・中学２年生・高校２年生では、「話さない」が最も多く、次いで「友達に話す」、「家族に話す」の順となりました。

○小中学校の児童生徒の「１か月間の平均読書冊数」　（単位：冊）

	学　年	本　　市		福　島　県	
		H 26 年	R元年	H 26 年	R元年
小学校	１年	18.3	13.6	15.9	15.6
	２年	18.6	12.6	15.3	15.1
	３年	9.6	13.1	11.4	12.4
	４年	8.3	7.2	9.2	10.4
	５年	7.5	6.2	6.5	7.6
	６年	7.0	5.2	5.8	6.7
	平　均	(11.6)	(9.6)	(10.5)	(11.2)
中学校	中１	3.2	3.0	3.2	3.3
	中２	2.4	2.5	2.6	2.7
	中３	2.2	2.0	1.9	1.9
	平　均	(2.6)	(2.5)	(2.5)	(2.6)

（資料：会津若松市教育委員会）

・　毎年 11 月に実施している「読書に関する調査」によれば、令和元年度の小学生の「１か月間の平均読書冊数」は、福島県（以下「県」という。）の平均冊数が 11.2 冊であるのに対し、本市の平均は 9.6 冊と 1.6 ポイント下回っています。

　なお、小学生について県と市の調査結果を比較してみると、県では学年が進むにつれて平均読書冊数が減っていくのに対し、本市小学生は、小学１～３年生まではほぼ横ばいですが、小学４年生になると一気に半分程度まで減少するという違いが見られました。

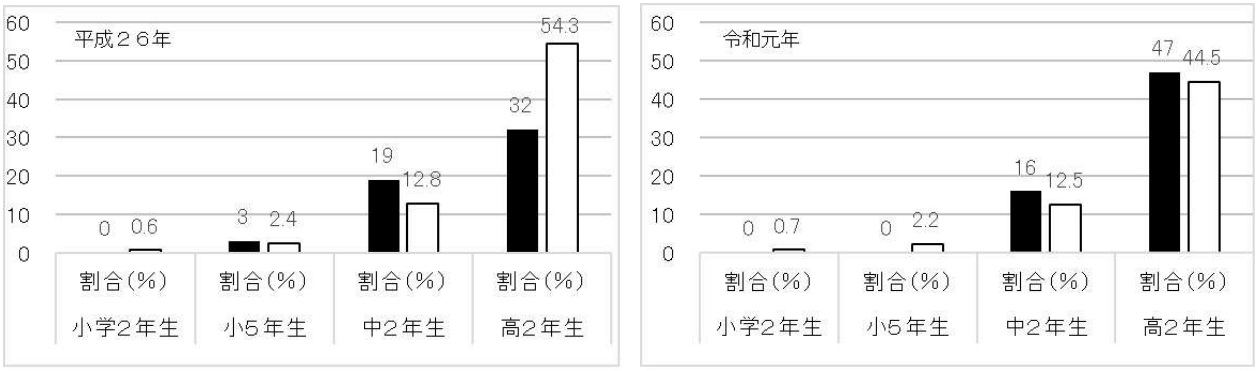
・　一方、中学生では、学年が進むにつれて平均読書冊数が減少していくという動きや数値の面において、本市は、県とほぼ同じ結果となっています。

・　本市小・中学生の「１か月間の平均読書冊数」について、第一次計画策定前（平成 21 年度）、第二次計画策定前（平成 26 年度）、第三次計画策定前（令和元年度）の調査結果を見ると、小学生では 9.0 冊→11.6 冊→9.6 冊、中学生では 2.0 冊→2.6 冊→2.5 冊となっています。県全体では、小学生は 9.4 冊→10.5 冊→11.2 冊と微増、中学生では 2.5 冊→2.5 冊→2.6 冊とほぼ横ばいという結果となりました。

・　なお、令和元年度の県の調査報告によると、「読書と学力の関係」について、「特に国語において、読書冊数が増えるほど、調査結果で上位の児童生徒の割合が高まる傾向が見られる」との分析結果が出ています。

設問　「読書の環境・実態」より

○11 月の１か月に１冊も本を読まなかった児童・生徒の割合（令和元年）



（読書に関する調査・アンケートより）

・　本市の小学生の不読率（１か月に１冊も本を読まなかった子の割合）については、平成 26 年度調査では小学２年生が０％、小学５年生が３％だったのに対し、令和元年度調査では小学２年生・５年生ともに０％に改善しました。参考までに、令和元年度調査における県内小学生（全学年）の不読率は 1.5%でした。（※不読率は、数値が低いほど良い結果ととらえます。）
・　上記結果については、本市が全小中学校において取り組んでいる「朝読」（朝の始業前に 10 分程度の読書タイムを設ける取組）の効果が出たものと考えます。
・　本市の中学２年生の不読率は、平成 26 年度調査では 19%でしたが、令和元年度調査では 16%と３ポイントの改善が見られました。なお、同様の比較では、県内中学生（全学年）の不読率は 16.1%から 17.7%と 1.6 ポイント後退しているのに対し、全国の中学生（全学年）の不読率（※「第 65 回学校読書調査（2019 年）」による）は 15.0%から 12.5%と 2.5 ポイントの改善が見られました。
・　令和元年度調査における本市の高校２年生の不読率は 47%で、高校生のおよそ２人に１人が、１か月に１冊も本を読んでいないことがわかりました。国の分析でも、高校生の読書への関心度合の低下が指摘されていますが、本市においても国と同様、高校生の読書離れが顕著であることがわかりました。

〇11 月の１か月に１冊も本を読まなかった理由（令和元年）

・　中学２年生は、１冊も本を読まない理由として、多い順に、「本が嫌い」（19%）、「ゲームが楽しい」（15%）でした。
・　高校２年生では、多い順に、「読まなくても困らない」（21%）、次いで「勉強（塾、宿題）等で忙しい」（19%）と「部活動で時間がない」（19%）でした。

〇読書のきっかけについて（令和元年）

・　小学２年生の読書のきっかけは、多い順に、「学校の図書館で見つけた」（59%）、「会津図書館や公民館図書室で見つけた」（12%）でした。
・　小学５年生では、多い順に、「学校の図書館で見つけた」（53%）、「本屋さんで見つけた」（14%）となりました。
・　中学２年生の読書のきっかけは、多い順に、「本屋さんで見つけた」46%）、「友達の紹介」（12%）でした。
・　高校２年生では、多い順に、「本屋さんで見つけた」（50%）、「学校の図書館で見つけた」（12%）と「その他」（12%）となりました。

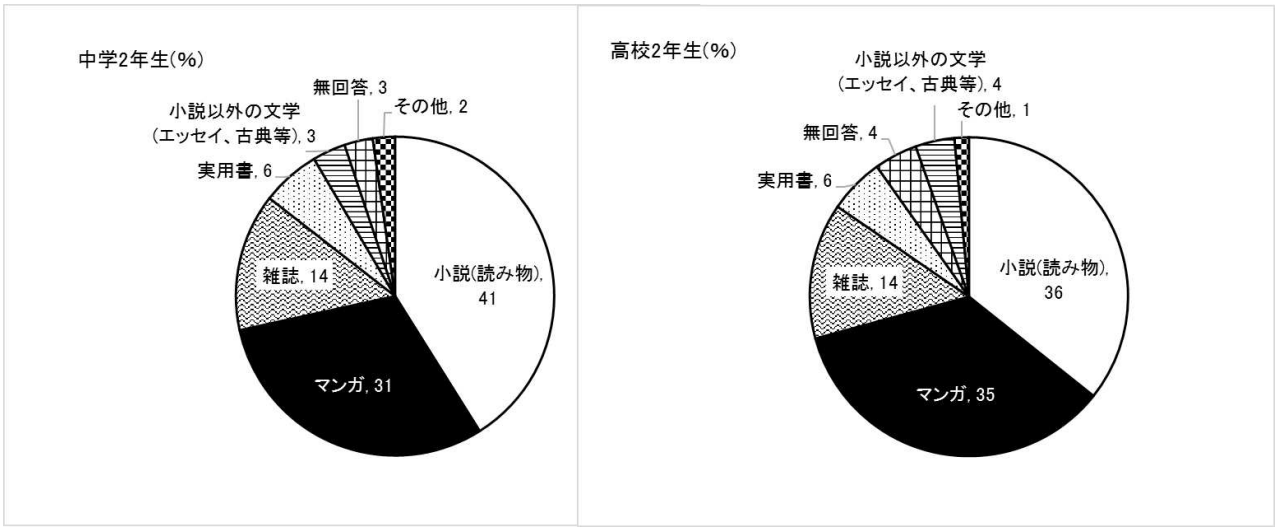
○１冊以上「読んだ」児童・生徒のうち「本を入手した方法」

・　本を入手した方法としては、小学２年生では、「学校図書館から借りた」が最も多い75%、次いで「会津図書館または公民館図書室から借りた」が11%、小学５年生では、「学校図書館から借りた」が60%と最も多く、次いで「自分で買った」が23%でした。

・　学校図書館の利用回数を尋ねた設問では、週３回以上利用している児童の割合が、小学２年生で72%、小学５年生で46%という結果になりました。このことからも、子どもが本を手にする場所として学校図書館の果たす役割が大きいことがうかがえます。

・　中高生については、「自分で買った」が、中学２年生で54%、高校２年生で62%と、学校図書館で借りるよりも書店等で本を購入することが増えていく様子がわかりました。

○どのような本を購入しますか

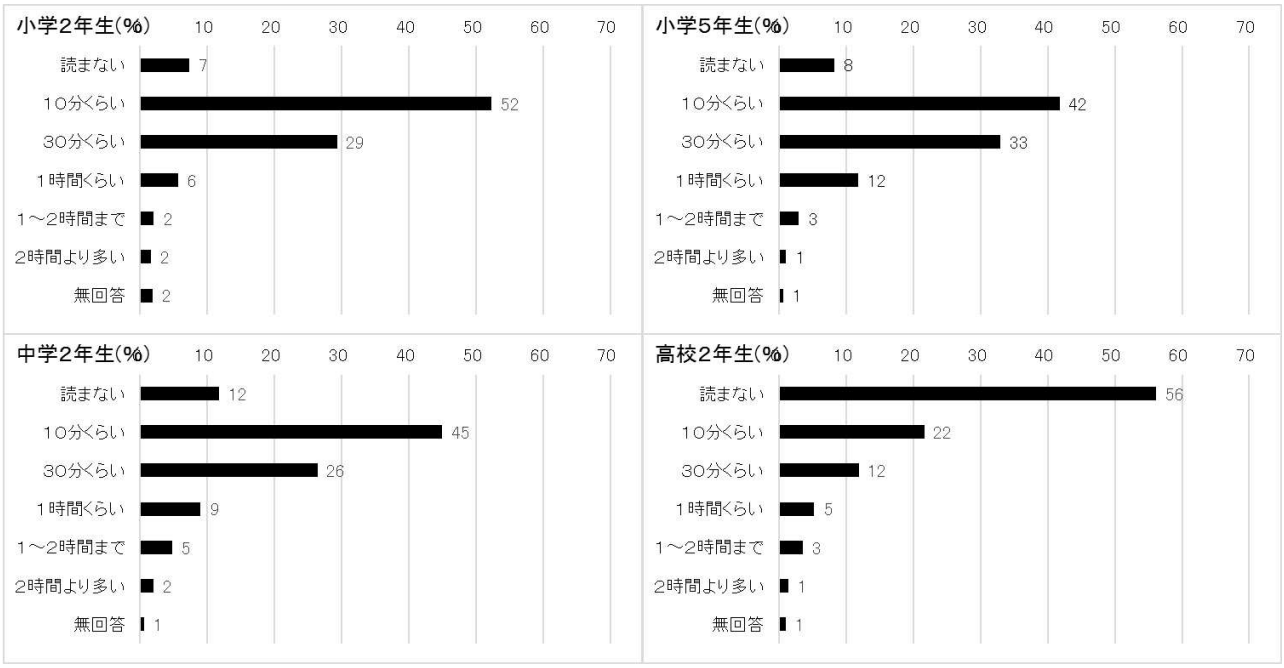


・　実際に購入した本の種類を尋ねたところ、中学２年生では「小説（読み物）」と答えた子が41%と最も多く、次いで「マンガ」が31%、その次が「雑誌」（14%）という結果になりました。

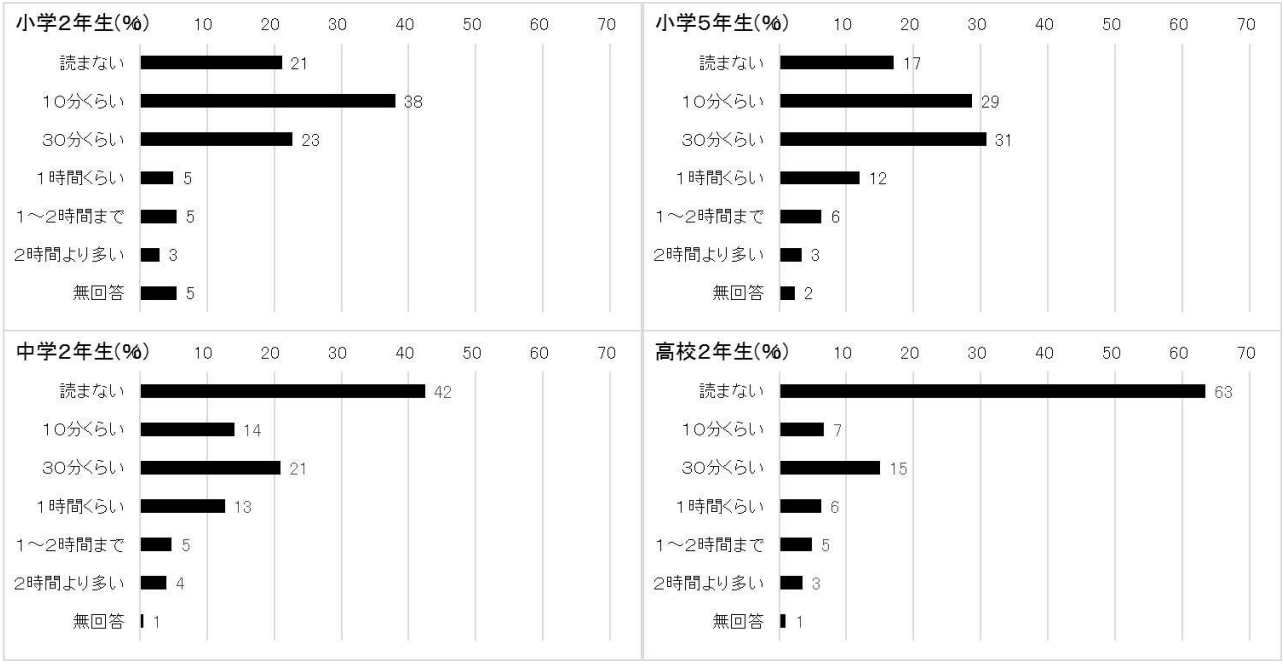
・　高校２年生を対象としたアンケートでも、中学２年生とほぼ同じ結果が出ています。

○本を読む時間

学校のある日



土曜日・日曜日



・　「学校のある日」と「土曜日・日曜日」で「本を読む時間」を比較すると、「土曜日・日曜日」に本を「読まない」と答えた人がいずれの学年でも増えています。

・　30分以上本を読む人の割合については、どの学年でも「学校のある日」と「土曜日・日曜日」であまり差はみられませんでした。（小学２年生では

39%→36%、小学５年生では 49%→52%、中学２年生では 42%→43%、高校２年生では 21%→29%）

○携帯・スマートフォン、パソコン、ゲーム機（インターネット・メール・ライン・モバイルゲーム・ユーチューブなどのネット動画）の利用時間

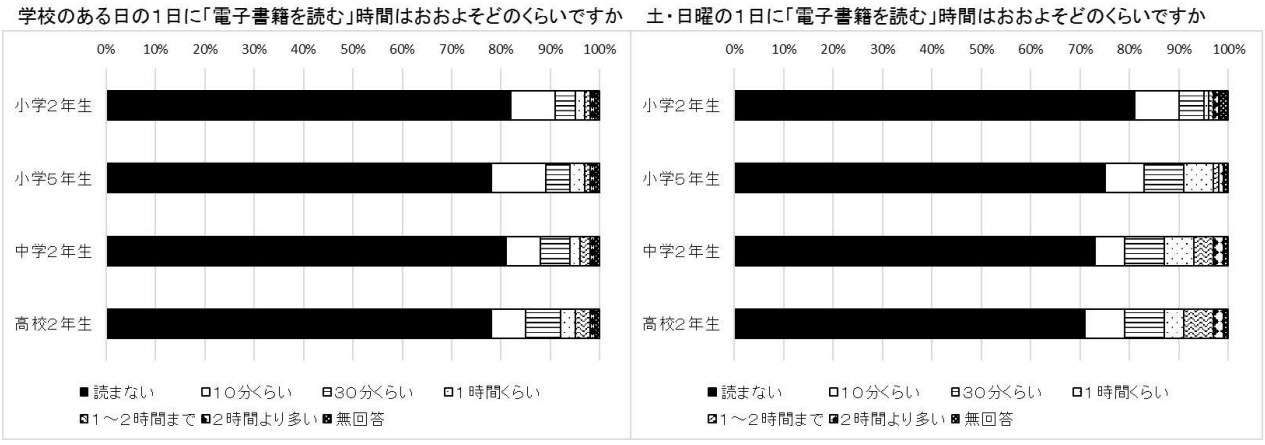
※２時間以上の利用者割合　（カッコ内は４時間以上の利用者割合）

	小学２年生	小学５年生	中学２年生	高校２年生
学校のある日	18%（３%）	30%（４%）	62%（８%）	75%（15%）
土・日曜日	29%（７%）	53%（12%）	89%（28%）	90%（40%）

・　平日、休日ともに、多くの子どもが携帯・スマートフォン、パソコン、ゲーム機の利用に多くの時間を費やしている実態が分かりました。特に、学年が上がるにつれて長時間にわたる利用者が増えていることがわかります。

・　なお、今回の調査では、利用目的を限定していないため、娯楽だけではなく学習利用や電子書籍を読む時間も含んでいるものと推測されます。（調査時点では新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の要請は出されていません。）ただ、いずれにしても、携帯・スマートフォン、パソコン、ゲーム機の長時間の利用に関しては、子どもの心身に悪影響が出ないよう、周囲の大人の適切な声掛けが必要と考えます。

○「電子書籍を読む」時間はおおよそどのくらいですか。

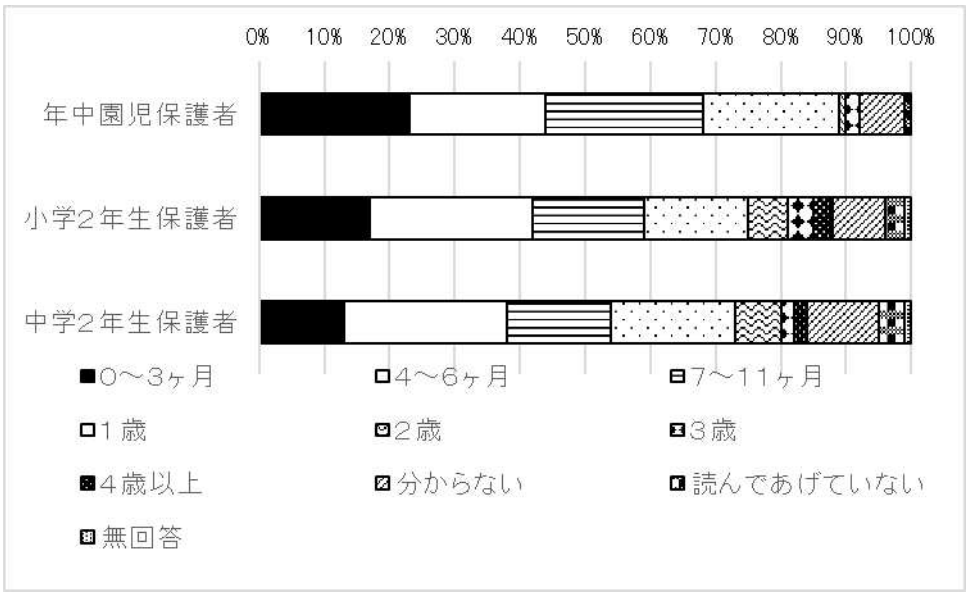


・　「電子書籍を読む」時間に関する設問では、「学校のある日」に「読まない」と答えた人は、児童生徒全体の 79.6%、「土・日曜日」に「読まない」と答えた人は、児童生徒全体の 75.5%でした。

・　児童生徒全体について、「電子書籍を読む」と答えた人を見てみると、「学校のある日」（平日）は 10 分程度の時間を充てている人の割合が多く、「土・日曜」については 30 分程度の時間を充てている人の割合が多くなっています。

設問「保護者と子どもの読書関係」より

○子どもに絵本を読み始めた時期



・　年中園児・小学２年生・中学２年生の保護者のうち約６割の人が、０歳代の乳児期に絵本の読み聞かせを始めています。また、上記グラフの「０～３ケ月」に読み聞かせを始めた保護者に注目すると、絵本の読み聞かせを始める時期がどんどん早まっていることもうかがえます。これは、第二次計画で推進してきた「０歳からの絵本スタート」の啓発活動の効果が表れていると考え、今後も啓発活動を続けていきます。

○本が好きな子どもに育てるために必要なこと　（複数回答有）

	年中園児保護者	小学２年保護者	中学２年保護者
本を勧める家族や大人の存在	21%	21%	24%
家族が読み聞かせをすること	31%	18%	13%
読みたい本が園や学校にあること	18%	16%	17%
テレビ、ゲーム、携帯の時間を減らすこと	12%	17%	19%
自由な時間があること	9%	15%	16%

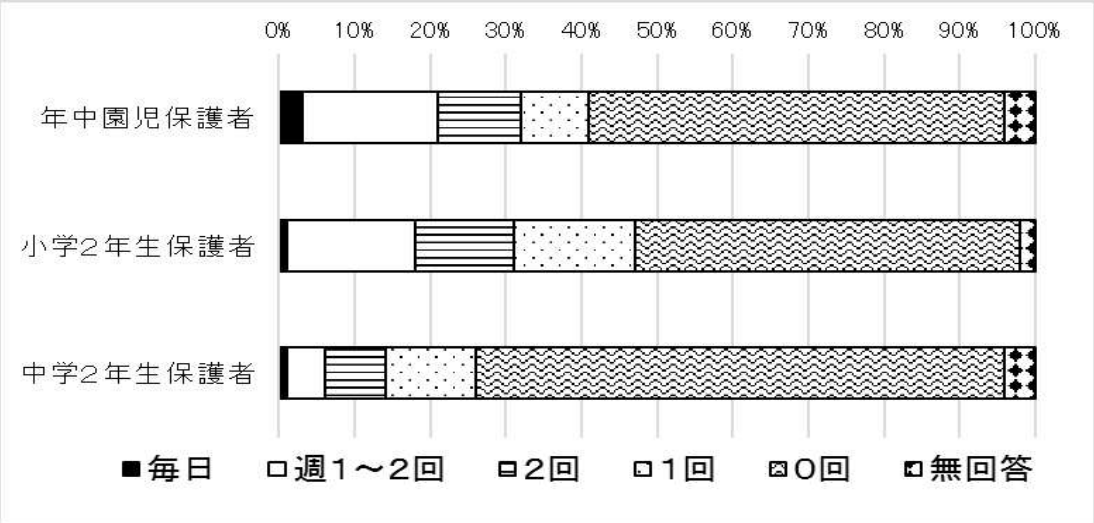
・　保護者は、本が好きな子どもに育てるためには、子どもの周りに読み聞かせをしたり、本を勧めたりする家族や大人が存在することが大切と考えていることがわかりました。また、テレビやゲーム、携帯の時間を減らすことも必要と考えている人が多いこともわかりました。

・　アンケートの自由記載によると、「朝、学校に登校する前」「夕食前」「夜寝る前」など、１日のうちで時間を決めて読書や読み聞かせに取り組んでいる家庭も多いことがわかりました。

○「家読（うちどく）」という言葉を知っているか。

・　「はい」と答えたのは年中園児保護者 35%、小学２年生保護者 66%、中学２年生保護者 66%と、小・中学生の保護者の６割強が、「家読」について認識していました。前回の調査では年中園児保護者で 26%、小学２年生保護者が 55%、中学２年生保護者 49%でしたので、「家読」の認知度は高まっていることがわかりました。

○「家読（うちどく）」の１１月中の実践回数



・　一方、「家読」の実践については、年中園児及び小学２年生の保護者の約半数、中学２年生の保護者では約７割が「０回」と回答しています。このことから、「家読」の認知度が高まっている一方で、実践はあまり伴っていない様子がうかがえます。

設問「施設の利用」より

○「会津図書館」「地区の公民館図書室」の１１月中の利用回数

→　「０回」と回答

	小２	小５	中２	高２	年中園児保護者	小２保護者	中２保護者
会津図書館	46%	70%	79%	93%	78%	64%	78%
地区公民館	74%	83%	92%	96%	94%	93%	95%

・　先述のとおり、本の入手方法としては、小学生では「学校図書館」が最も多く、中高生では本屋等で「自分で買った」が最も多くなっています。全体で見ると、会津図書館及び地区公民館の利用者は、一部の人に留まっていることがわかります。

子どもと保護者　（特別支援学級・支援学校　対象）

設問「本への興味」より

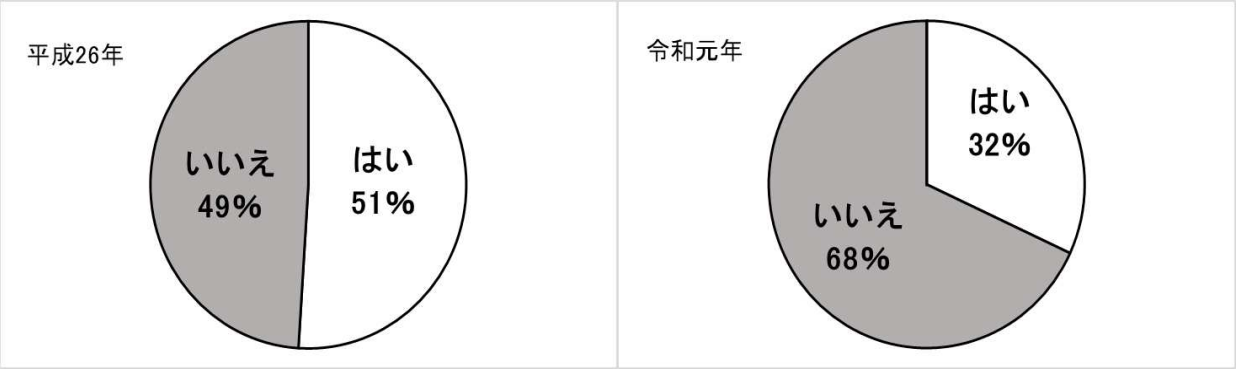
○「お子さんは本を読むこと（または絵本を見る、読んでもらうこと）が好きですか」

好き	少し好き	あまり好きではない	嫌い	その他	無回答
85人	72人	60人	7人	6人	2人
37%	31%	26%	3%	2%	1%

・　「好き」または「少し好き」と答えた人は 232 人中 157 人（68%）と、約７割の子どもが読書に対して肯定的な感情を持っていることがわかりました。

設問「保護者と子どもの読書関係」より

〇保護者は子どもと一緒に読書や、「読み聞かせ」をしているか。



・　前回の調査では、約半数の親子が共に読書や読み聞かせを行っていましたが、今回の調査では、一緒に読書や読み聞かせをしている、障がいのある子どもとその保護者は、約３割という結果になりました。

〇「会津図書館」「地区の公民館図書室」の認知度(令和元年度)

	会津図書館	地区公民館図書室
どこにあるか分らない	45% （前回 65%）	－
「本の貸出」実施について知らない	－	66% （前回 67%）
「図書館・公民館に望むこと」について「行っていないので分らない」	31% （前回 40%）	42% （前回 39%）

・　２つの「施設の利用」に関する設問から、「会津図書館」「地区公民館図書室」は、多くの障がいのある子どもとその保護者からの認知度はまだまだ低く、利用したことがない人も多いことがわかりました。

・　前回アンケートとの比較では、会津図書館の場所の認知度は 20 ポイント上昇しました。また、地区公民館図書室で「本の貸出」を行っていることについての認知度は、１ポイント上昇しました。

・　アンケートの自由記載では、保護者から会津図書館に望むこととして、「各種イベントの実施」（６人）や、「図鑑の種類を増やす、図鑑の貸出」（５人）、「マルチメディアデイジー図書」（４人）、「声を出してもいいような個室」（３人）、「シャトルバスの運行」（１人）等々、たくさんの要望がありました。このうち、「声を出してもいいような個室」については、すでにこどもとしょかん内に読み聞かせを行うための個室として「親子ブース」を２か所設置していますが、今回の回答から、さらに周知していく必要があるとわかりました。

・　公民館図書室には、「借りやすい雰囲気」や「のんびり本を読んでもいい雰囲気」を望む声とともに、「省エネのため電気が点いていないため暗く入りにくい雰囲気がある」や「冬はあたたかくしてほしい」といった声がありました。近年、公民館図書室は、書架の整理や図書室内の表示や飾り付けなども含め、利用しやすく親しみやすい環境づくりに取り組んでいます。一度「暗い」「寒い」といった印象を利用者に与えてしまうと、次の利用につながりにくくなるため、こうしたイメージを持たれないよう工夫していくことが重要です。

コラム

「マルチメディアデイジー図書」とは

パソコン等により文字・音声・画像を同時に再生できる電子書籍のこと。
文字拡大機能や音声読み上げ機能、文字と地の色の反転機能などがあり、
視覚障がいや学習障がい、発達障がいなどにより一般の図書を読むことが
困難な方にも対応できる図書として、活用が期待されています。
※デイジー／ＤＡＩＳＹ
（Digital Accessible Infomation System の略。）

２　会津図書館の貸出状況

現在の会津図書館は平成23年４月に移転開館し、多くの子どもと保護者に利用されています。５年ごとの動きを見てみると、本市の18歳以下の子どもの数は年々減ってきていますが、１人あたりの貸出冊数でみると、年ごとに増えてきていることがわかります。

○本市の「18歳以下の子どもの貸出冊数（本館と移動図書館）」（会津図書館調べ）

	年度	７歳未満（就学前）	７～12歳（小学生世代）	13～15歳（中学生世代）	16～18歳（高校生世代）	合　計
人　口（単位：人）	H 21	7,427	7,591	4,056	4,137	23,211
	H 26	6,891	6,598	3,855	3,818	21,162
	R元	6,052	5,984	3,230	3,417	18,683
貸出冊数（単位：冊）	H 21	16,993	41,596	4,719	3,449	66,757
	H 26	30,638	64,083	8,655	4,376	107,752
	R元	34,415	60,477	8,793	4,472	108,157
１人あたりの貸出冊数（単位：冊）	H 21	2.3	5.5	1.2	0.8	平均2.9
	H 26	4.5	9.7	2.3	1.1	平均5.1
	R元	5.7	10.1	2.7	1.3	平均5.8

※人口は各年度末の住基人口の数値を使用

※１人あたりの貸出冊数の数値は、小数点第二位を四捨五入したもの（会津若松市民への貸出分）

次に、保護者等が読み聞かせをするために借りていくことも多い児童書の貸出冊数についてです。令和元年度は、平成26年度と比べて微増の1.01倍でした。

○児童書の貸出冊数（本館と移動図書館）　（会津図書館調べ）

年　度	平成26年度	令和元年度
貸出冊数	１５９，２７９冊	１６１，２６１冊

第２部　第三次計画の基本方針と施策

第Ｉ章　前計画とアンケート等から見えた課題

Ｉ　家庭における読書活動の推進

課　　題	今後の方向性・必要性
子どもの読書活動の推進の基礎となるのは家庭です。 「０歳からの絵本スタート」や「家読」に対する意識の向上を図り、家庭における子どもの発達段階に応じた読書活動の支援の継続が重要です。	**発達段階に応じた読書活動の支援** ○　乳幼児期においては、「ブックスタート事業」や月刊紙の活用等、読み聞かせを通して親子の絆が深まるような取組を推進していく必要があります。 ○　学童期においては、「メディアコントロール」や「家読」など、家族みんなで読書を楽しむ時間を設けるような働きかけが 必要です。 ○　年齢やテーマに応じた「ブックリスト」の配布等、家庭における多様な読書活動を支援する取組を継続していく必要があります。

２　図書館等における読書活動の推進

課　　題	今後の方向性・必要性
学年が上がるに連れ、本を読まない子どもの割合が増える傾向にあります。 特に、高校生の読書離れが顕著となっており、これを食い止める働きかけが重要です。	**生涯にわたる読書習慣の形成** ○　幼い頃から読書を身近に感じ、読書習慣が身に付くような取組や保護者への働きかけが必要です。 ○　本への興味喚起や、本を手にとりやすい環境づくりが必要です。 ○　ビブリオバトルなど、同世代で互いに刺激し合うような取組が求められています。 ○　読書習慣に基づき、様々なメディアを通して知識・情報を活用する力が必要です。
会津図書館においては、学校図書館の整備に関する支援と、ボランティアの養成が求められています。	**学校図書館の整備支援とボランティアの養成** ○　引き続き、「学校図書館ボランティア養成講座」を開催し、学校図書館ボランティアの養成に取り組む必要があります。 ○　「読み聞かせ講座」を開催し、各地域で活動するボランティアを養成し、学校との連携を図る必要があります。 ○　学校図書館の整備支援に関する助言、学校図書館支援員への相談体制の構築が求められています。
公民館図書室は本に出会える場所として認知度が未だに低いのが現状です。地域のみならず、市内全域への情報の発信も必要です。	**公民館図書室の広報** ○　各公民館図書室の情報を各公民館だよりで紹介するほか、会津図書館ホームページやツイッターを通じて発信するなど、公民館図書室の活用頻度の向上のため、広報していくことが必要です。

３　保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進

課　　題	今後の方向性・必要性
子育てを支援する各施設において、絵本の読み聞かせや貸出などによる読書活動の推進を継続していく必要があります。また、家庭での読み聞かせの重要性についての啓発が必要です。	**「家読」の広報・啓発** ○　読み聞かせの重要性や、「家読」の具体的な実践方法について、機会をとらえて広報啓発する必要があります。 ○　家庭と連携し、日常の中で読書に親しむ機会を作っていくことが重要です。

４　学校における読書活動の推進

課　　題	今後の方向性・必要性
学校図書館においては、図書冊数の確保に努めるとともに、児童生徒の興味関心を高める環境整備の工夫が必要です。	**小中学校図書館の環境整備** ○　学校図書館の蔵書の充実に努めます。 ○　学校図書館のより良い整備に向け、学校、ボランティア、教育委員会等との一層の協働を図ります。 ○　学校図書館支援員の配置により、学校図書館の整備を促進します。さらに、司書教諭等との連携により、授業や調べ学習への図書館活用を推進します。
学校図書館において、図書館環境整備や読み聞かせのボランティアによる読書活動の推進が求められています。	**ボランティアとの連携による読書活動の推進** ○　各学校や地域（地域学校協働本部等）で、図書館ボランティアを募り、地域と連携して図書環境の整備や読み聞かせを行うことで、児童生徒が利用しやすい学校図書館の環境を整え、読書活動全般に対する関心を高めます。
中高生の情報メディアの影響による読書離れの懸念や、本を読まない割合が高い実態を受けて、中高生に対する読書活動の啓発が必要です。	**中高生の読書活動の推進** ○　本への興味喚起や、本を手にとりやすい環境づくりに取り組みます。 ・ビブリオバトル、ブックトーク等新たな読書活動の推進 ・朝読の時間確保 ・メディアコントロールの推進における家読の奨励 ・興味を持たせる本の紹介 ・学校図書館における本の貸出の充実 ・会津図書館との連携による図書環境の充実

５　支援を必要とする子どもの読書活動の推進

課　　題	今後の方向性・必要性
障がいがあったり、日本語を母国語としない等、支援を必要とする子どもにも利用しやすい環境づくりを各施設において進めるとともに、広報等により利用方法等の周知を図ることが大切です。	**図書資料の充実・更新** ○　会津図書館や保育所等が、支援を必要とする子どもが読書を楽しむきっかけを得られる場となるよう、図書資料の充実を図る必要があります。　（大活字図書、点字図書、布絵本、しかけ絵本、図鑑、外国語の本、マルチメディアデイジー図書等） **図書館・公民館情報の広報** ○　会津図書館や公民館図書室の利用方法、イベント情報、バリアフリーの會津稽古堂施設や会津図書館の親子ブース、触る絵本やオーディオブックなどについて、積極的に周知する必要があります。 　また、周知にあたっては、支援を必要とする子どもと関わりの深い団体や機関との連携も重要です。
障がいのある子どもや、母国語が日本語以外の子どもの、読書ニーズを把握する必要があります。	**一人ひとりに合った読書活動の推進** ○　学校や施設、会津図書館等の連携のもと、個々のニーズをとらえ、一人ひとりに合った読み聞かせ等に柔軟に応える体制づくりが必要です。

第２章　基本方針と施策

第Ⅰ部の第２章の前計画における取組状況と成果、そして第３章の読書調査等の現状や課題から、子どもの読書習慣の形成や、発達段階に応じた取組と支援が必要であることがわかりました。

このため、「第三次計画」では、「第二次計画」の基本方針を引き継ぎながら、今後５年間をかけて、さらに本市の子どもの読書活動を推進していきます。

基本方針１　読書に親しむ機会の充実

子どもが読書の喜びや楽しさに触れ、自主的に読書を楽しむようになるためには、子どもが読書に親しむ機会を充実させることが重要です。

そのため、乳幼児期から親子での読み聞かせ等で本に親しむなど、家庭を基本としながらも、地域、学校等においてそれぞれの果たすべき役割を分担しながら、子どもの成長段階に応じて読書に親しむ機会の提供を図ります。

基本方針２　読書環境の整備と充実

子どもが読みたい本を手に取ることができ、本を身近に感じることができる環境を整備していくことが重要です。

そのため、家庭、保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援センター、児童館、こどもクラブ、公民館図書室、会津図書館及び学校図書館など、子どもを取り巻く場所において読書活動ができるように環境の整備と充実を図ります。また、子どもの読書活動を支援するボランティア等の人材育成に努めます。

基本方針３　読書活動についての理解の促進

身近にいる大人が、読書活動の重要性と、読書に親しめる機会や環境づくりの必要性について認識し、読書を共に楽しみ、勧める存在となることが重要です。

そのため、関係機関が連携し、子どもの読書活動の意義や重要性について、機会をとらえて広報・啓発を行い、地域全体が子どもの読書活動について理解するよう促します。

基本方針Ⅰ　読書に親しむ機会の充実

Ⅰ　家庭における読書活動の推進

家庭においては、親子で本を楽しみながら読書への興味や関心を高め、読書習慣の形成を図ることが重要です。

市では、子どもの成長を見守りながら、家庭での読書への取組を支援します。

◆　家庭への支援

具体的な取組	概　　要	関係主体
「家読（うちどく）」の実践	絵本の読み聞かせをする、親子で同じ本を読んで感想を伝え合う、最近読んだ本のことを話題にするなど、家族で本を通したコミュニケーションを図ることが大切です。	保育所 認定こども園 幼稚園 小学校・中学校 義務教育学校 会津図書館 ほか
ブックスタート事業	４か月児健康診査時に絵本のプレゼントと読み聞かせを行い、家庭における読み聞かせを推進します。	こども家庭課 健康増進課 会津図書館
心を育てる栄養としての絵本の紹介	市では、４か月児健康診査・７か月児離乳食教室・１歳６か月児健康診査・３歳６か月児健康診査時に、年齢に応じた「ブックリスト」を配布します。	健康増進課 会津図書館
本を選ぶ、本を探す際の相談受付（レファレンス）	本への興味・関心を高めるには、日常的に図書館や書店に出向くことが有効です。図書館では、本を選んだり、本を探す際の相談に応じます。	会津図書館
「読書関連イベント」への参加	子どもの本への興味を広げるためには、図書館や公民館、保育園等で開催される読書関連イベントに参加することが有効です。	会津図書館 公民館 保育所 認定こども園 幼稚園　ほか

広報紙、情報紙による読書活動等の情報提供	市では、本に親しむ機会の充実を図るため、読書関連イベント等について、広報紙や情報紙により、情報提供を行います。	保育所 認定こども園 幼稚園 小学校・中学校 義務教育学校 会津図書館 公民館　　ほか

コラム

「読み聞かせ」は何歳まで？

多くの保護者が、小さい子どもへの「読み聞かせ」に取り組んでいます。
読み聞かせの開始時期もだんだん早まる傾向にあるようで、今回のアンケートでも、「０歳のときから」始めたという人が６割前後となりました。

大好きな人の声で本を読んでもらう時間は、子どもにとってはとても安心する楽しい時間になるでしょうし、大人にとっても、忙しい毎日の中で子どもと向き合える大切な時間になるのではないでしょうか。

ところで、「読み聞かせ」は一体いつまで続ければいいのでしょうか？
子どもが自分で字を読めるようになるまで？　それとも小学校に入学するまで？　いやいや低学年のうちは…などなど、色々な考え方があるかと思いますが、長年読み聞かせ活動に携わっている方から伺ったご意見はこうでした。

「子どもが『もういい。』と言うまで。」

子どもが読み聞かせを求めているうちは、たとえ自分でスラスラ本を読めるようになっていたとしても、身体がすっかり大きくなっていたとしても、読み聞かせを続けて良いのだと。何歳だから、ではなく、一人ひとりの個性に合わせて好きなだけ続けていいのだと。
親も子も読み聞かせの時間を楽しめているのなら、無理にやめようとせず、そのままぜひ続けてみてください。
きっと素敵な成長があると思います。

２　図書館（公民館）等における読書活動の推進

図書館は、様々な本と出会い、読書の楽しさや学ぶ喜びを得られる場所です。イベントの開催等を通して、子どもたちが本に親しむ機会の充実を図ります。

公民館図書室では、地域の子どもたちや子育て中の親子連れが気軽に本に出会える場所として、より身近に本と親しむ機会の充実を図ります。

◆　会津図書館での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
ブックスタート事業（再掲）	４か月児健康診査時に絵本のプレゼントと読み聞かせを行い、家庭における読み聞かせを推進します。 なお、会津図書館では、図書館司書による絵本の選定と、ボランティアとの協働による読み聞かせを行います。	こども家庭課 健康増進課 会津図書館
「赤ちゃんおはなし会」	絵本の読み聞かせを行うとともに、子育てにおける絵本の読み聞かせの重要性を保護者に伝えます。 （対象：０歳児から３歳児の親子、妊婦）	会津図書館 読み聞かせボランティア
ボランティアによるおはなし会の開催	読み聞かせボランティアや関係団体との協働により、定期的にイベントをこどもとしょかん内のおはなしのへやで開催し、図書館への来館を促すとともに、本への興味・関心を高めます。	会津図書館 読み聞かせボランティア 昔語りボランティア 国際交流関係団体 子ども読書活動支援ボランティア
	「おはなし会」 （対象：幼児～小学校低学年）	
	「かたりべ会」 （対象：幼児～小学校低学年）	

	「おはなしのもり」 （対象：幼児～小学校低学年） 「英語のおはなし会」 （幼児～児童とその保護者）	
「ようこそ　おはなしのへやへ」の開催	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等で本に親しむきっかけづくりを行うとともに、工作により楽しい時間を提供します。 （対象：幼児～小学生）	会津図書館 読み聞かせボランティア
「季節のおはなし会」の開催	「たのしい春のおはなし会」等、季節に応じたおはなし会を開催します。 （対象：４歳～小学生）	会津図書館 読み聞かせボランティア
「絵本の音楽会」の開催	大きなスクリーンで絵本の映像を観ながら朗読と音楽の生演奏を一緒に楽しむことで、絵本の魅力や物語の楽しさを伝え、心豊かな時間を提供します。	会津図書館 音楽団体 読み聞かせボランティア
「会津図書館を使った調べる学習コンクール」の開催	図書館の資料を活用した「調べる学習」に取り組み、主体的に学ぼうとする意欲を醸成し、情報を活用する能力の養成を図ります。（対象：小学生）	会津図書館 学校教育課 小学校 義務教育学校
「会津ビブリオバトル（知的書評合戦）」の開催	読書によって得られた本との出会いや魅力、その本を読んで感じた思いなどについて発表することで、読書活動の充実と論理的思考力・表現力等を育むとともに、プレゼンテーション能力の向上を図ります。（対象：中高生）	会津図書館 中学校 義務教育学校 高校
「はじめての古文書」講座の開催	初めて古文書に触れる方を対象とし、古文書への興味・関心を喚起し、図書館の利用拡大を図ります。 （※中級者向けの講座もあります。） （対象：高校生以上）	会津図書館

図書館見学（會津稽古堂ツアー）の受入	図書館見学を希望する団体等に対し、館内や利用方法の説明・案内、絵本の読み聞かせ等を行います。	会津図書館 保育所 認定こども園 幼稚園 小学校・中学校 義務教育学校 高校　　ほか
職場体験の受入	会津図書館において職場体験を受け入れることにより、図書館業務や読書への理解を深めます。 （対象：中高生）	人事課 会津図書館 中学校 義務教育学校 高校
中学校・高校と連携した推薦図書の展示・貸出	中高生に、おすすめの本のポップを書いてもらい、ティーンズコーナーにて展示を行うことで、中高生の読書意欲を喚起します。	会津図書館 中学校 義務教育学校 高校
年齢やテーマに応じた「ブックリスト」の更新・配布	乳幼児からティーンズまでのブックリストやおすすめ本の一覧について、適宜更新します。 また、更新したブックリストについては、健康診査時や、学校及び会津図書館内でも配布します。また、図書館ホームページにも掲載します。	会津図書館 健康増進課 小学校 中学校 義務教育学校
「読書日記」の配布	子どもの読書意欲を喚起するため、自分が読んだ本を記入し、お気に入りの１冊を友達に紹介する「読書日記」について、図書館内での配布や会津図書館ホームページでデータを公開し、活用を呼び掛けます。	会津図書館 小学校 義務教育学校
団体貸出の実施	読書活動を推進している団体等に対し、100冊を上限に図書の貸出を行います。	会津図書館 社会福祉団体 地域文庫　ほか

◆　公民館での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
公民館図書室の見学や職場体験の受入	公民館図書室を身近に感じてもらえるよう、小学生の公民館見学や中学生の職場体験を受け入れます。	公民館 小学校 中学校 義務教育学校
「０歳からの絵本スタート」の支援	親子で読み聞かせがしやすい環境を整備し、親子で一緒に読みたいおすすめ本の提案や排架を行います。	公民館
読み聞かせ（放課後子ども教室事業）	放課後子ども教室事業において、地域の方々の参画を得て、絵本の読み聞かせ、民話等の語りにより、読書機会を提供します。	公民館 小学校 義務教育学校 地域ボランティア
地域の読み聞かせボランティアの紹介・斡旋	公民館が地域の読み聞かせ団体と学校や保育所をつなぎ、「朝読」活動や昔語りを通して読書への興味を広げる支援を行います。	公民館 保育所 小学校 義務教育学校 地域の読み聞かせボランティア

◆　地域文庫での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
地域住民への図書の貸出	地域住民に対し、地域文庫で所蔵している図書と、会津図書館から借り入れしている図書の貸出を行います。	地域文庫 会津図書館
ボランティアによるおはなし会の開催	読み聞かせボランティア等との協働により、読み聞かせやエプロンシアター等などのおはなし会を開催します。	地域文庫 読み聞かせボランティア　　ほか

３　保育所・認定こども園・幼稚園等における読書活動の推進

保育所・認定こども園・幼稚園等は、家庭とともに、読書習慣の形成に重要な役割を果たします。毎日の生活の一部として読み聞かせや読書を取り入れ、子どもたちの読書活動の充実を図ります。

◆　保育所・認定こども園・幼稚園等での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
絵本、紙芝居等の積極的活用	子どもの発達や興味関心、季節や行事に合わせた絵本や紙芝居の読み聞かせに積極的に取り組みます。 また、生活で体験したことを図鑑を使って調べたり読んだりします。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
地域の読み聞かせボランティアとの連携	地域のボランティアと連携し、絵本の読み聞かせを実施します。	保育所 認定こども園 幼稚園 読み聞かせボランティア　ほか
月刊絵本の活用	月刊絵本を保護者に購入してもらい、園内で活用した後は家庭に持ち帰り、家族で絵本に親しんでもらうように取り組みます。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
行事への活用	絵本やお話を題材にしたものを行事に取り入れていくことで、親子ともに絵本やお話への興味を広げ、読書活動へつなげるよう取り組みます。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
絵本の貸出	在園児や子育て支援事業を利用する親子に絵本を貸し出します。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
絵本のプレゼント	保護者の協力を得て、園行事の際に絵本をプレゼントし、親子での読書活動を促進します。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか

◆　児童館・こどもクラブでの取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
絵本、紙芝居等の積極的活用	子どもの発達や興味関心、季節や行事に合わせた絵本や紙芝居の読み聞かせに取り組みます。	児童館 こどもクラブ
地域の読み聞かせボランティアとの連携	地域のボランティアと連携し、絵本の読み聞かせを実施します。	児童館 こどもクラブ 読み聞かせボランティア
読書タイムの実施	読書タイムを取り入れ、読書に親しむ時間を確保します。	児童館 こどもクラブ

絵本とのふれあい（中央保育所）

４　学校における読書活動の推進

学校図書館では、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能を再認識し、それらを活用した授業のあり方をより一層工夫するとともに、全ての教育活動や家庭及び地域との連携を通じて、児童生徒がより楽しみながら自主的に読書に親しむことができるようにしていきます。

◆　学校での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
授業における学校図書館の活用	小・中学校において、授業改善に向け、学校図書館の計画的な利用を図ります。	小学校 中学校 義務教育学校
「朝読」活動の充実に向けた取組	小・中学校において、「朝読」（10分程度の朝の読書）に取り組みます。併せて、「読書記録カード」の活用を図ります。	小学校 中学校 義務教育学校
地域の読み聞かせボランティアの活用	小・中学校において、地域（地域学校協働本部等）でボランティアを募り、児童生徒を対象に地域人材を活用した読み聞かせを行います。	小学校 中学校 義務教育学校 読み聞かせボランティア
「メディアコントロール」の実施	各中学校区ごとに「メディアコントロール」を実施し、「家読」への時間活用を促します。（P.16コラム参照）	小学校 中学校 義務教育学校
思考力や表現力を養う読書活動の推進	小・中学校において、ブックトークやビブリオバトル、図書館を使った調べる学習等、思考力や表現力を養う読書活動を推進します。	小学校 中学校 義務教育学校 会津図書館

５　支援を必要とする子どもの読書活動の推進

絵本を介して子どもとスキンシップを図り、情緒の安定を促したり、一緒に楽しむ時間を設けたりしていくことが、子どもの成長にとって重要です。

障がいがあったり、日本語以外を母国語とするなど支援を必要とする子どもの読書活動を、地域と学校、行政機関が連携しながら支えていきます。

◆　支援を必要とする子どもへの取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
一人ひとりの特性に合わせた「読み聞かせ」等の実施	子どもの発達や興味・関心に合わせて保育士や教諭が一対一での読み聞かせを行います。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
ボランティアとの連携	ボランティアと連携し、読み聞かせ等を行います。	小学校 中学校 義務教育学校 読み聞かせボランティア
外国語による絵本の読み聞かせやおはなし会の開催	外国語（特に英語）の絵本の読み聞かせを行うことにより、子どもたちに読書の楽しさを紹介するとともに、外国語を母国語とする子どもたちの図書館利用を図ります。	国際交流関係団体 会津図書館
会津図書館における読み聞かせの実施	見学等で来館する障がいのある子どもに対し、要望に応じて読み聞かせを行います。	会津図書館 読み聞かせボランティア

基本方針２　読書環境の整備と充実

Ⅰ　家庭における読書環境の整備・充実

子どもの本への興味・関心を引き出し、読書習慣を定着させるような環境づくりが重要です。そのためには、子どもがいつでも本を手に取れるような読書環境が求められています。

◆　家庭への支援

具体的な取組	概　　要	関係主体
「０歳からの絵本スタート」の実践・ブックスタート事業	「ブックスタート事業」（４か月児健康診査時の絵本のプレゼントと読み聞かせ）等を活用し、家庭における読書環境づくりに取り組むことが重要です。	こども家庭課 健康増進課 会津図書館
「ブックリスト」の配付	市では、家庭で本を選ぶ際の参考になるよう、乳幼児健康診査等で「ブックリスト」（月齢別・年齢別おすすめ本の一覧）を配付します。	健康増進課 会津図書館
図書の充実	家庭では、本を書店で購入したり、図書館や公民館図書室、学校図書館などから定期的に借りるなどして、子どもの幅広い興味にあわせた図書の充実を図ることが重要です。	書店 学校 公民館 会津図書館 保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか

２　図書館（公民館）等の整備・充実

子どもの本への興味・関心を引き出し、知的好奇心に応えられるよう、図書館（公民館等）の整備・充実を図ります。

◆　会津図書館での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
図書資料の整備と充実	子どもの読書活動を支援するため、図書資料の整備と充実を図ります。	会津図書館
学校支援図書セットの整備・更新	学校の授業での図書の活用と支援のため、テーマごとに集めた図書セットを整備・更新し、学校に貸出します。	会津図書館 小学校 義務教育学校
しかけ絵本・布絵本等の充実	読書へのきっかけづくりとして、しかけ絵本や布絵本等の充実を図ります。	会津図書館
「中高生へのおすすめ本」の展示	中高生の読書意欲を喚起するため、会津図書館内ティーンズコーナーで中高生向けのおすすめ本の展示を行います。	会津図書館
展示スペースを活用した本の紹介	展示スペースを活用して本の紹介を行い、新しい本と出会うきっかけを作ります。	会津図書館
子どもに親しまれる環境づくり	書架の飾り付けや案内サインにより、子どもに親しまれる環境をつくります。	会津図書館
読書相談や調べものに関する調査・情報提供（レファレンスサービス）	子どもの学習意欲の支援のため、読書相談に応じ、調査や情報提供を行います。	会津図書館
公民館図書室の環境整備支援	会津図書館奉仕員が巡回訪問し、公民館図書室の整備に向けた指導・助言を行います。	会津図書館 公民館

移動図書館（あいづね号）の運行	遠隔地の小学校や県立会津支援学校及び県立聴覚支援学校会津校へ月１回移動図書館を運行して児童生徒に図書を貸出することにより、読書の機会を提供します。	会津図書館 小学校 義務教育学校 特別支援学校 ほか
支援活動の受入	本の寄贈やボランティア活動などの支援を積極的に受け入れることにより、子どもの読書環境の向上を図ります。	民間団体 個人 ボランティア ほか
学校図書館支援員と会津図書館奉仕員との相談体制の充実	定期的な連絡会の開催を通して、学校図書館の環境づくりを推進します。 また、会津図書館奉仕員から、学校図書館の整備に関し、専門的な見地からの指導・助言を行います。	会津図書館 学校教育課
ボランティアへの読み聞かせ研修会等の機会提供	国・県等が主催する研修会等について、ボランティア団体等への情報提供を行います。	会津図書館 読み聞かせボランティア
会津図書館と公民館図書室の図書の相互貸借	会津図書館と公民館で所蔵する図書について相互に貸し借りをすることにより、図書の貸出・返却の利便性の向上を図ります。	会津図書館 公民館
地域で活動するボランティア育成のための「読み聞かせ講座」の開催	子どもに対する読み聞かせの大切さや楽しみ方及び読み聞かせの技術について学習する機会を提供し、地域で活動するボランティアの育成を図ります。（対象：18歳以上の市民）	会津図書館 読み聞かせボランティア

寄贈図書（新着本）の紹介コーナー

◆　公民館での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
展示スペースを活用した本の紹介	展示スペースを活用して本の紹介を行い、新しい本と出会うきっかけを作ります。	公民館
子どもに親しまれる環境づくり	書架の飾り付けや案内サインにより、子どもに親しまれる環境をつくります。	公民館
会津図書館と公民館図書室の図書の相互貸借（再掲）	会津図書館と公民館で所蔵する図書について相互に貸し借りをすることにより、図書の貸出・返却の利便性の向上を図ります。	公民館 会津図書館

コラム

読書と学力の関係（令和元年度「ふくしま学力調査」より）

令和元年度から始まった「ふくしま学力調査」の結果により、特に国語において、読書冊数が増えるほど、調査結果で上位の児童生徒の割合が高まる傾向が見られることが報告されています。

その他、全国学力・学習状況調査（平成 25 年度、平成 28 年度）により、読書活動が学力向上（正答率ＵＰ）に寄与するという結果も得られています。

※出典：令和２年３月福島県教育委員会ＨＰ／
「令和元年度『読書に関する調査』の結果【資料編】」

３　保育所・認定こども園・幼稚園等における読書環境の整備・充実

子どもの心と言葉の成長にとって、乳幼児期に絵本などの本に出会える場があることが重要です。

保育所・認定こども園・幼稚園等の読書環境の整備・充実を図ることで、乳幼児の読書活動を積極的に促します。

◆　保育所・認定こども園・幼稚園等での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
絵本コーナーの整備・充実	各保育室に絵本コーナーを設置し、毎年購入を行うことにより、多様な絵本に触れる機会や環境を作ります。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
子育て支援事業としての絵本コーナーの設置と充実	子育て支援事業の利用者（未就園児とその保護者）向けの絵本のコーナーを設置し、様々な本に触れる機会を提供します。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
各絵本コーナーの環境整備	ゆったりと読書活動ができるように、絵本コーナーに椅子を設けるなど、落ち着いた雰囲気づくりに取り組みます。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
職員研修会の開催	職員研修会を開催し、読み聞かせや読書活動の重要性への理解を深めます。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか

４　学校図書館の整備・充実

学校図書館図書標準の達成を目標に、蔵書の充実に取り組むとともに、古くなった蔵書の除籍（廃棄）や図書の購入を適切に行うことで、学校図書館の読書環境の整備・充実を図ります。

また、令和２年４月からスタートした新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に学校図書館を計画的に利用し、その活用を図っていくことが明記されました。これに伴い、児童生徒及び教職員の要望に応えられるような学校図書館の整備を一層図っていきます。

◆　学校での取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
学校図書の蔵書の充実・整備	学校図書館図書標準未達成の学校について、蔵書の充実を図ります。 また、蔵書の除籍（廃棄）や図書の購入を適正に行います。	教育総務課 小学校 中学校 義務教育学校 会津図書館 学校図書館ボランティア
学校図書館及び学級文庫の整備・充実	児童生徒が活用しやすい学校図書館及び学級文庫を目指し、施設の利用環境を整えます。	学校教育課 小学校 中学校 義務教育学校 会津図書館
「心の居場所」としての学校図書館の整備と活用	学校図書館が「心の居場所」としての機能を果たせるように、みんなが「落ち着いて過ごせる場所」になるための整備と活用方法の工夫を図ります。	学校教育課 小学校 中学校 義務教育学校
学校図書館ボランティアの養成(学校図書館ボランティアとの協働)	会津図書館において、学校図書館に必要な基礎的な知識及び技術を養成する「学校図書館ボランティア養成講座」を開催します。	会津図書館 学校教育課 小学校 中学校

	また、学校においては、上記講座で学んだボランティアと協働し、学校図書館の整備・充実を図ります。	義務教育学校
学校図書館支援員の配置	教育委員会（学校教育課）は、市内全小中学校へ学校図書館支援員を配置し、読書に親しむ児童生徒の育成や図書館教育支援（授業で活用する図書整備や情報提供等）を行います。 また、小・中学校では、学校図書館支援員と連携し、学校図書館の整備・充実を図ります。 併せて、学校図書館支援員の配置拡充を図ります。	学校教育課 小学校 中学校 義務教育学校
会津図書館との連携による学校図書館の整備	会津図書館奉仕員の小・中学校図書館巡回訪問を活用し、より良い学校図書館の環境づくりを進めます。	小学校 中学校 義務教育学校 会津図書館
会津図書館奉仕員と学校図書館支援員との相談体制の充実（再掲）	定期的な連絡会の開催を通して、学校図書館の環境づくりを推進します。 また、会津図書館奉仕員から、学校図書館の整備に関し、専門的な見地からの指導・助言を行います。	学校教育課 会津図書館
「読み聞かせ講座」受講の働きかけ	保護者や地域の方に「読み聞かせ講座」受講を働きかけ、児童生徒の読書活動への参加を促します。	学校教育課 会津図書館

コラム

図書委員会のみんなに聞いてみました！

「理想の図書館ってどんな図書館？」

●小学校●
・話してもいい場所がある。
・寝っ転がって本を読める場所がほしいです。
・音楽を聴きながら本を読める図書館があったらいいなと思う。
・マンガがある図書館
・パソコンに情報を入れるとその本が出てくる。
・美術館みたいにアート作品があったり、小動物がいる動物園や水族館が一体になっていたりして、読書だけでなく、色々な過ごし方をしながら長い時間過ごせる施設にしてほしい。
・森の中にある図書館。建物の中でも外でも、ゆっくり読書ができるから。
・閉じこもって本が読める個室がある図書館がいい。
・誰もさわがない図書館。静かで本を読むのに集中できる図書館。
●中学校●
・学校や家に近い図書館
・本を運んでくれるロボットがいるといい。
・たくさんのジャンルの本がある（マンガも）。
・明るさを控えめにするといい。
・静かな図書館がいい 。

「みんながもっと本を読むようになるにはどうしたらいいと思う？」

●小学校●
・ポスターを作ったり、おもしろそうな本をさがしてカウンターの近くに置いたりしたらいいと思う。
・昼休みに、学校の図書室でたまにイベントを開催する。
・図書室に来た人にしおりのプレゼントをする。
・一週間に全員毎日（本を）読んだら宿題を減らせば、読まない人も読むと思う。
・マンガのように読みやすい小説がたくさんあったら、みんなが読むようになると思う。
●中学校●
・友達同士が面白い本を紹介できる掲示板があればいいと思います。
・放送での呼びかけで本の魅力を伝える。
・「〇〇の本」のようにお題を出してみる。
・絵本があると本が身近に感じられると思う。

…などなど、たくさんの声をいただきました。
さて、あなたの理想は？

５　支援を必要とする子どもの読書環境の整備・充実

支援を必要とする子どもの本への興味・関心を引き出し、読書習慣の定着につながるよう、環境づくりを進めます。

◆　支援を必要とする子どもへの取組

具体的な取組	概　　要	関係主体
体験を伴う図書の充実	しかけ絵本や布絵本等の触る感覚を楽しむ絵本の充実を図ります。	会津図書館
様々な言語で書かれた図書の充実	点字図書や録音図書、外国語で書かれた本などの充実を図ります。	会津図書館
マルチメディアデイジー図書の導入	視覚障がいや学習障がい、発達障がい等のある子どもも利用できるよう、マルチメディアデイジー図書の導入を図ります。（Ｐ.31 コラム参照）	会津図書館
移動図書館（あいづね号）の運行（再掲）	遠隔地の小学校や特別支援学校へ月１回移動図書館を運行して児童生徒に図書を貸出することにより、読書の機会を提供します。	会津図書館 小学校 義務教育学校 特別支援学校 ほか
外国語による利用案内の作成	日本語以外を母国語とする子どもに向けた会津図書館の利用案内を作成します。	会津図書館 国際交流関係団体
読書に集中できる環境づくり	保育室や園内の一画を囲うなど、落ち着いた雰囲気の中で読書活動ができるよう環境づくりに取り組みます。	保育所 認定こども園 幼稚園　ほか
障がいのある子どもに対する「読み聞かせ」等の実施に向けた人材育成	障がい児通所施設等での「読み聞かせ」や「絵本相談会」の実施に向けて、職員向けの研修の機会を設けます。	会津図書館

基本方針３　読書活動についての理解の促進

Ⅰ　広報・啓発

子どもの読書活動を推進していくためには、子どもはもちろん、子どもに関わる大人の理解が欠かせません。

市では、子どもの読書活動の意義や重要性について、機会をとらえて広報・啓発を行います。

◆　広報紙等による広報・啓発

具体的な取組	概　　要	関係主体
広報紙の発行・配付	「こどもとしょかんだより」「図書館だより」「移動図書館だより」の定期的な発行・配布により、図書館のイベント、新刊図書・おすすめの本等を広報します。	会津図書館
	各「公民館だより」の定期的な発行・配布により、新刊図書・おすすめの本等を広報します。	公民館
読書関連事業の周知	関係機関が障がい児向けに行っている読書イベント等について、障がい児支援施設へ周知を図ります。	こども家庭課 障がい児支援施設
新小学１年生に対する図書館案内の配付	就学時健康診断時の家庭教育講座を通じて図書館の利用案内を配布し、新小学１年生の保護者に対し図書館の利用や「家読」について広報します。	会津図書館 学校教育課
ホームページやＳＮＳによる情報発信	会津図書館ホームページやツイッターにおいて、図書館のイベントや展示等の情報、公民館図書室の情報を発信します。	会津図書館 公民館

「家読（うちどく）」の広報啓発	「家読のススメ」のチラシ発行や、図書館だより等へ「家読」の記事やおすすめの本を掲載することで、「家読」の意義や楽しさについて啓発を図ります。	会津図書館
思考力や表現力を養う読書活動の推進（再掲）	ブックトークやビブリオバトル、図書館を使った調べる学習等、思考力や表現力を養う読書活動を推進します。	小学校 中学校 義務教育学校 会津図書館
園だよりやクラスだよりでの広報	在園児や子育て支援事業利用の保護者に向けて定期的にお便りを発行し、絵本の紹介や、読み聞かせの重要性を伝えて読書活動を推進します。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
専門的知識を持った職員や講師による読書活動の大切さの広報・啓発	保護者説明会や子育てセミナー等で、保護者に対し、家庭における読書活動の大切さを伝えます。	保育所 認定こども園 幼稚園　　ほか
「メディアコントロール」の実施（再掲）	中学校区ごとに「メディアコントロール」を実施し、減らしたメディアの時間を活用して、家庭で読書に親しむ「家読」を奨励します。	小学校 中学校 義務教育学校
「図書館を使った調べる学習コンクール」作品の展示	「会津図書館を使った調べる学習コンクール」受賞作品の複製を、年に２回（７～９月、３月）会津図書館内の「こどもとしょかん」で展示し、図書館の資料を活用した「調べる学習」の取組を広報・周知します。	会津図書館 小学校 義務教育学校

◆　「こどもの読書週間」（４月 23 日～５月 12 日）関連イベントの開催

具体的な取組	概　　要	関係主体
「ライブリック・シアター」の開催	会津図書館で所蔵する子ども向けの映像作品を會津稽古堂多目的ホールで上映し、「こどもの読書週間」の周知と子どもの読書活動についての理解の促進を図ります。	会津図書館
「絵本の音楽会」の開催（再掲）	大きなスクリーンで絵本の映像を観ながら朗読と音楽の生演奏を一緒に楽しむことで、絵本の魅力や物語の楽しさを伝え、心豊かな時間を提供します。	会津図書館 音楽団体 読み聞かせボランティア

図書館を使った調べる学習コンクール作品展

第３章　計画の推進に向けて

１　関係機関・団体との連携

子どもの読書活動の推進に関わる関係機関・団体には、学校、保育所・認定こども園・幼稚園、児童館、ボランティア団体、文化団体、会津図書館、公民館、地域文庫、書店、関係行政機関等があります。これらが、それぞれの特色を活かし相互に情報交換を行いながら、連携して子どもの読書活動を推進します。

２　計画の推進体制と進行管理

「第二次計画」に引き続き庁内各課で構成される「会津若松市子ども読書活動推進連絡会」において、庁内の情報交換を図りながら、毎年、計画の取組状況や進捗状況を確認します。また、広報、啓発の検討、各団体間の連携、協力等について協議し、本計画の効果的な推進に努めます。

その進捗状況や協議内容を、学識経験者や社会教育・家庭教育関係者、学校関係者等で構成する「会津図書館協議会」へ報告し、ご意見をいただきます。

なお、計画の取組状況や指標及び主な意見等については、ホームページで公表していきます。

３　第三次計画　【指標（数値目標）】

	項　　目	現況値 （令和元年度）	目標値 （令和７年度）	備　　考
基本方針１	「０歳からの絵本スタート」の実施割合	６１％	７０％	会津図書館アンケート結果による
	「読み聞かせ」の実施割合 年中園児保護者	８７％	９５％	会津図書館アンケート結果による
	「家読（うちどく）」の実施割合 小学２年生保護者	４７％	６０％	会津図書館アンケート結果による
	「家読（うちどく）」の実施割合 中学２年生保護者	２６％	４０％	会津図書館アンケート結果による
	読書（読み聞かせ）をした家庭の割合 （障がいのある子どもの家庭において）	３２％	６０％	会津図書館アンケート結果による
	こども（１８歳まで）の登録者割合	４９．９％	５２％	会津若松市の子どもの登録者数／人口
	児童書の貸出冊数	１６１，２６１冊	１７０，０００冊	会津図書館における貸出冊数
	中高生への貸出冊数	１５，７４８冊	２０，０００冊	会津図書館における貸出冊数
	こども（１８歳まで）の年間利用人数	７２２人	９３０人	地区公民館及び神指分館においての合計
	放課後子ども教室事業で 「読み聞かせ」等を取り入れた回数	２４回	３５回	地区公民館及び神指分館においての合計
	小中学生の１か月間の平均読書冊数	小学生　9.7冊 中学生　2.5冊	小学生 14.0冊 中学生　4.2冊	市教育委員会資料による
基本方針２	マルチメディアデイジー図書及び 再生機器の導入	機器　　0台 図書　　0点	機器　　1台 図書　　30点	
	学校図書館図書標準を 達成している学校数	小学校 19/19 中学校　9/11	小学校 19/19 中学校 11/11	市教育委員会資料による
	図書館ボランティアが 参画している学校数	小学校 17/19 中学校　6/11	小学校 19/19 中学校　9/11	市教育委員会資料による
基本方針３	お便りによる読書活動啓発を １年間に４回以上実施した園の割合	４７％	７５％	対象は、市内全ての保育所15か所、認定こども園15か所、幼稚園2か所

【資料１】子どもの読書活動の推進に関する法律　(平成13年12月12日公布)

（目的）

第１条　この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第２条　子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第３条　国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第４条　地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第５条　事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第６条　父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第７条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第８条　政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

２　政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

３　前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第９条　都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

２　市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

３　都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

４　前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第１０条　国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

２　子ども読書の日は、四月二十三日とする。

３　国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第１１条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附　則

この法律は、公布の日から施行する。

【資料２】「第三次計画」策定の経過

開　催　日		内　容
令和元年１２月		子ども読書活動アンケートの実施
令和２年	４月２２日	教育委員会定例会
	４月２３日	副部長会議
	４月２８日	部長会議
	５月　８日	子ども読書活動推進計画策定庁内検討会設置要綱の制定 子ども読書活動推進計画策定市民懇談会開催要綱の制定
	６月　１日	市民懇談会一般公募委員募集
	６月　３日	第１回庁内検討会
	６月２２日	第１回ワーキンググループ会議
	７月　６日	第２回ワーキンググループ会議
	７月２１日	第３回ワーキンググループ会議
	８月　４日	第１回市民懇談会
	８月２４日	第２回市民懇談会
	８月２６日	第２回庁内検討会
	１０月２９日	会津図書館協議会
	１１月１２日	副部長会議
	１１月１９日	教育委員会定例会
	１１月２５日	素案の庁議決定
	１２月１１日	文教厚生委員会協議会
	１２月２４日 ～１月２２日	パブリックコメント
令和３年	１月２８日 ～３月　１日	第３回庁内検討会（書面表決）
	３月１８日	教育委員会定例会
	３月	公表

【資料３】会津若松市子ども読書活動推進計画策定庁内検討会設置要綱

（令和２年５月８日決裁）

（設置）

第１条　子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）第９条第２項の規定に基づき、第三次会津若松市子ども読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）の策定について必要な事項を調査・検討するため、会津若松市子ども読書活動推進計画策定庁内検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　検討会は、次に掲げる事務を所掌する。

（１）推進計画に係る庁内意見の調査・検討に関すること。

（２）推進計画案の作成に関すること。

（３）その他推進計画に係る必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　検討会は、別表第１に掲げる職にある者をもって組織する。

２　検討会に委員長を置き、生涯学習総合センター所長をもって充てる。

３　検討会に副委員長を置き、会津図書館長をもって充てる。

４　委員長は、会務を総理する。

５　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第４条　検討会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

２　委員長が必要と認めるときは、会議に関係職員の出席を求め、意見等を求めることができる。

（ワーキンググループの設置）

第５条　検討会に推進計画の原案の策定に必要な事項について、調査・検討を行なうためワーキンググループを置く。

２　ワーキンググループは、別表第２に掲げる課又は委員長が別に指定する課の所属長が推薦する者をもって組織し、会津図書館職員が座長となる。

（庶務）

第６条　検討会の庶務は、生涯学習総合センターにおいて処理する。

（委任）

第７条　この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は、決裁の日から施行する。

（有効期限）

２　この要綱は、推進計画が策定された日までその効力を有する。

別表第１（第３条関係）

健康福祉部	こども家庭課長
	こども保育課長
	健康増進課長
教育委員会	生涯学習総合センター所長
	教育総務課長
	学校教育課長
	北公民館長
	会津図書館長

別表第２（第５条関係）

健康福祉部	こども家庭課
	こども保育課
	健康増進課
教育委員会	教育総務課
	学校教育課
	北公民館
	会津図書館

【資料４】会津若松市子ども読書活動推進計画策定市民懇談会開催要綱

（令和２年５月８日決裁）

（趣旨）

第１条　子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律 154 号）第９条第２項の規定により市が策定する第三次会津若松市子ども読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）の検討にあたり、広く市民及び市民団体から意見を聴くため、会津若松市子ども読書活動推進計画策定市民懇談会（以下「市民懇談会」という。）を開催する。

（所掌事務）

第２条　市民懇談会は、次に掲げる事項について意見を交換し、検討を行う。

⑴　庁内組織が策定する推進計画案に関すること

⑵　その他子どもの読書活動の推進に関すること

（出席者）

第３条　市民懇談会の出席者は、別表に掲げる区分から出席を依頼する。

２　市民懇談会に座長を置き、出席者の互選によってこれを定める。

（会議）

第４条　市民懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

２　座長は、必要があると認めるときは会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（庶務）

第５条　市民懇談会の庶務は、生涯学習総合センターにおいて処理する。

（補則）

第６条　この要綱に定めるもののほか、市民懇談会の開催に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この要綱は、令和２年５月８日から施行し、令和３年３月 31 日をもってその効力を失う。

別表

区　　分	人　　数
会津若松市立会津図書館協議会	２名
会津若松市立小・中学校長協議会	１名
会津若松市父母と教師の会連合会	２名（小１・中１）
会津若松市幼児教育振興協会	１名
会津若松市保育所連合会	１名
会津若松市幼児教育振興協会保護者連絡協議会	１名
会津若松市保育所保護者会連合会	１名
会津若松市社会福祉協議会	１名
会津若松市国際交流協会	１名
福島県高等学校司書研修会会津部会	１名
福島県会津教育事務所	１名
福島県立会津支援学校	１名
会津若松市スクールカウンセラー等	１名
会津若松市読書活動ボランティア団体	１名
一般公募委員	２名（公募）

【資料５】会津若松市子ども読書活動推進計画策定市民懇談会委員名簿

（敬称略）

No.	委員名	所属団体等
1	◎　鈴木　秀子	会津図書館協議会
2	長澤　尊子	会津図書館協議会
3	樋口　喜敬	会津若松市立小・中学校長協議会
4	遠藤　麻美	会津若松市父母と教師の会連合会（小学校）
5	瓜生　美保	会津若松市父母と教師の会連合会（中学校）
6	渡部　利智子	会津若松市幼児教育振興協会
7	谷川　香代子	会津若松市保育所連合会
8	讃岐　美津子	会津若松市幼児教育振興協会保護者連絡協議会
9	佐々木　健	会津若松市保育所保護者会連合会
10	森　　啓子	会津若松市社会福祉協議会
11	中村　順子	会津若松市国際交流協会
12	阿部　　誠	福島県高等学校司書研修会会津部会
13	武藤　盛男	福島県会津教育事務所
14	八木橋　民枝	福島県立会津支援学校
15	高梨　敦子	会津若松市スクールカウンセラー
16	遠藤　美穂	会津若松市読書活動ボランティア団体 （よみきかせグループ　おはなしのへや）

◎･･･座長

【資料６】「第三次計画」策定にかかるアンケート結果

調査対象期間：令和元年11月1か月間

「第三次計画」の策定にあたり、子どもの読書環境などの現状を把握し、今後の読書活動における課題や施策を探ることを目的として、令和元年にアンケートを実施しました。

子ども（A～D）

	配布数	回収数	割合
A 小学2年生	450	440	97.78
B 小学5年生	478	474	99.16
C 中学2年生	363	356	98.07
D 高校2年生	292	287	98.29
合計	1,583	1,557	98.36

※市内全校（小・中・高校）の各対象学年1クラスを選び実施

保護者（E～G）

	配布数	回収数	割合
E 幼稚園・保育所の年中園児の保護者（6園）	210	158	75.24
F 小学2年生の保護者（Aの対象の保護者）	450	397	88.22
G 中学2年生の保護者（Bの対象の保護者）	363	243	66.94
合計	1,023	798	78.01

※幼稚園・保育所各3園の年中園児の保護者を対象に実施
※子どもとAとCの保護者を対象に実施

子どもと保護者（H）

	配布数	回収数	割合
H 特別支援学級・特別支援学校の子どもと保護者	291	232	79.73

子ども読書活動アンケート 【こども】

設問1 本への興味		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	あなたは本を読むことが好きですか	①好き	241	55 %	228	48 %	160	45 %	115	40 %
		②少し好き	170	38 %	163	34 %	110	31 %	89	31 %
		③あまり好きではない	26	6 %	67	14 %	60	16 %	67	23 %
		④嫌い	3	1 %	17	4 %	25	7 %	16	6 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	1	1 %	0	0 %
2	読んだ本について、誰かに話しますか。※複数回答あり	①家族に話す	146	32 %	145	29 %	48	13 %	47	16 %
		②友達に話す	148	33 %	169	33 %	147	39 %	94	31 %
		③その他に話す	14	3 %	8	2 %	2	1 %	0	0 %
		④話さない	139	31 %	179	35 %	170	46 %	154	52 %
		無回答	5	1 %	1	1 %	2	1 %	1	1 %
3	本を読んでもらうことは、好きですか	①好き	210	48 %	117	25 %				
		②少し好き	118	27 %	179	38 %				
		③あまり好きではない	75	17 %	125	26 %				
		④嫌い	27	6 %	40	8 %				
		無回答	10	2 %	13	3 %				

設問2 読書の環境・実態		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	どのくらい本を読んでいますか(学校と家での読書を合わせて、教科書・マンガ・雑誌は除く)	①読まない	24	5 %	29	6 %	54	15 %	139	48 %
		②週1～2回読む	142	32 %	182	38 %	102	29 %	91	32 %
		③週3～4回読む	104	24 %	141	30 %	84	24 %	24	8 %
		④ほとんど毎日読む	168	38 %	117	25 %	116	32 %	32	11 %
		無回答	2	1 %	5	1 %	0	0 %	1	1 %
2	土・日曜の1日に「本を読む」時間はおおよそどのくらいですか	①読まない	93	21 %	81	17 %	151	42 %	182	63 %
		②10分くらい	164	38 %	136	29 %	50	14 %	19	7 %
		③30分くらい	100	23 %	146	31 %	77	21 %	43	15 %
		④1時間くらい	22	5 %	54	12 %	45	13 %	18	6 %
		⑤1～2時間まで	24	5 %	30	6 %	17	5 %	14	5 %
		⑥2時間より多い	13	3 %	16	3 %	14	4 %	10	3 %
		無回答	24	5 %	11	2 %	2	1 %	1	1 %
3	学校のある日の1日に「本を読む」時間はおおよそどのくらいですか	①読まない	32	7 %	39	8 %	42	12 %	161	56 %
		②10分くらい	230	52 %	198	42 %	162	45 %	62	22 %
		③30分くらい	129	29 %	159	33 %	94	26 %	34	12 %
		④1時間くらい	25	6 %	56	12 %	32	9 %	15	5 %
		⑤1～2時間まで	9	2 %	14	3 %	17	5 %	10	3 %
		⑥2時間より多い	7	2 %	5	1 %	7	2 %	4	1 %
		無回答	8	2 %	3	1 %	2	1 %	1	1 %
4	土・日曜の1日に「電子書籍を読む」時間はおおよそどのくらいですか(電子辞典は除く)	①読まない	356	81 %	355	75 %	259	73 %	205	71 %
		②10分くらい	40	9 %	37	8 %	23	6 %	22	8 %
		③30分くらい	23	5 %	39	8 %	28	8 %	24	8 %
		④1時間くらい	6	1 %	26	6 %	20	6 %	13	4 %
		⑤1～2時間まで	3	1 %	7	1 %	14	4 %	16	6 %
		⑥2時間より多い	4	1 %	7	1 %	7	2 %	6	2 %
		無回答	8	2 %	3	1 %	5	1 %	1	1 %
5	学校のある日の1日に「電子書籍を読む」時間はおおよそどのくらいですか(電子辞典は除く)	①読まない	360	82 %	368	78 %	287	81 %	225	78 %
		②10分くらい	43	9 %	53	11 %	27	7 %	19	7 %
		③30分くらい	17	4 %	31	5 %	22	6 %	20	7 %
		④1時間くらい	10	2 %	12	3 %	9	2 %	10	3 %
		⑤1～2時間まで	3	1 %	3	1 %	7	2 %	9	3 %
		⑥2時間より多い	1	1 %	3	1 %	2	1 %	3	1 %
		無回答	6	1 %	4	1 %	2	1 %	1	1 %

設問2 読書の環境・実態		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
6	土・日曜の1日に「テレビ・DVDを見る」時間はおおよそどのくらいですか	①見ない	21	5 %	14	3 %	25	7 %	21	7 %
		②10分くらい	44	10 %	7	1 %	7	2 %	7	3 %
		③30分くらい	96	22 %	33	7 %	29	8 %	26	9 %
		④1時間くらい	100	23 %	92	19 %	57	16 %	40	14 %
		⑤1～2時間まで	54	12 %	106	22 %	69	19 %	59	21 %
		⑥2～3時間まで	54	12 %	100	21 %	71	20 %	52	18 %
		⑦3～4時間まで	21	5 %	57	12 %	56	16 %	47	16 %
		⑧4時間より多い	46	10 %	64	14 %	40	11 %	32	11 %
		無回答	4	1 %	1	1 %	2	1 %	3	1 %
7	学校のある日の1日に「テレビ・DVDを見る」時間はおおよそどのくらいですか	①見ない	76	17 %	44	9 %	34	10 %	35	12 %
		②10分くらい	93	21 %	20	4 %	12	3 %	20	7 %
		③30分くらい	78	18 %	86	18 %	66	18 %	61	21 %
		④1時間くらい	88	20 %	114	24 %	89	25 %	56	20 %
		⑤1～2時間まで	48	11 %	102	22 %	79	22 %	64	22 %
		⑥2～3時間まで	22	5 %	59	13 %	45	13 %	35	12 %
		⑦3～4時間まで	10	2 %	24	5 %	18	5 %	12	4 %
		⑧4時間より多い	21	5 %	20	4 %	11	3 %	3	1 %
		無回答	4	1 %	5	1 %	2	1 %	1	1 %
8	土・日曜の1日の「携帯・スマートフォン・パソコン・ゲーム機(インターネット・メール・ライン・モバイルゲーム・ユーチューブなどのネット動画)の利用」時間はおおよそどのくらいですか	①利用しない	59	13 %	43	9 %	18	5 %	2	1 %
		②10分くらい	58	13 %	20	4 %	4	1 %	1	1 %
		③30分くらい	88	20 %	54	11 %	18	5 %	8	3 %
		④1時間くらい	87	20 %	98	21 %	25	7 %	20	7 %
		⑤1～2時間まで	38	9 %	91	19 %	46	13 %	31	11 %
		⑥2～3時間まで	36	8 %	65	14 %	78	22 %	51	17 %
		⑦3～4時間まで	24	6 %	37	8 %	68	19 %	59	20 %
		⑧4時間より多い	31	7 %	58	12 %	98	27 %	115	40 %
		無回答	19	4 %	8	2 %	1	1 %	0	0 %
9	学校のある日の1日の「携帯・スマートフォン・パソコン・ゲーム機(インターネット・メール・ライン・モバイルゲーム・ユーチューブなどのネット動画)の利用」時間はおおよそどのくらいですか	①利用しない	123	28 %	100	21 %	29	8 %	3	1 %
		②10分くらい	72	16 %	38	8 %	17	5 %	4	1 %
		③30分くらい	88	20 %	102	22 %	26	7 %	14	5 %
		④1時間くらい	66	15 %	84	18 %	60	17 %	55	19 %
		⑤1～2時間まで	37	9 %	77	16 %	85	24 %	62	22 %
		⑥2～3時間まで	23	5 %	35	7 %	72	20 %	62	22 %
		⑦3～4時間まで	10	2 %	13	3 %	36	10 %	45	15 %
		⑧4時間より多い	13	3 %	19	4 %	30	8 %	42	15 %
		無回答	8	2 %	6	1 %	1	1 %	0	0 %
10	11月の1ヵ月間に何冊、本を読みましたか。借りて読んだ本、電子書籍で読んだ本も入ります。(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌は除く)※小学生については「読書に関する調査」より	①読まない	0	0 %	0	0 %	58	16 %	134	47 %
		②1冊	18	3 %	87	12 %	86	24 %	76	27 %
		③2冊	28	4 %	106	14 %	76	21 %	31	11 %
		④3冊	24	4 %	114	16 %	51	14 %	24	8 %
		⑤4冊	51	7 %	84	11 %	24	7 %	6	2 %
		⑥5冊	40	6 %	97	13 %	14	4 %	4	1 %
		⑦6冊	26	4 %	41	6 %	14	4 %	4	1 %
		⑧7冊	48	7 %	35	5 %	4	1 %	0	0 %
		⑨8冊以上	437	65 %	172	23 %	28	8 %	8	3 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	1	1 %	0	0 %

設問2 読書の環境・実態		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
11	設問2-10で「①読まない」と回答した方にお聞きします。読まなかった理由は何ですか ※複数回答あり ※小学生については「読書に関する調査」より	①勉強等で忙しい	0	0 %	0	0 %	6	8 %	27	19 %
		②部活動で時間がない	0	0 %	0	0 %	8	10 %	28	19 %
		③テレビが楽しい	0	0 %	0	0 %	4	5 %	6	4 %
		④ゲームが楽しい	0	0 %	0	0 %	11	15 %	13	9 %
		⑤マンガ等が楽しい	0	0 %	0	0 %	5	7 %	13	9 %
		⑥遊びが楽しい	0	0 %	0	0 %	5	7 %	7	5 %
		⑦どんな本を読んでいいのか分からない	0	0 %	0	0 %	6	8 %	0	0 %
		⑧読まなくても困らない	0	0 %	0	0 %	9	12 %	30	21 %
		⑨本が嫌い	0	0 %	0	0 %	14	19 %	9	6 %
		⑩その他	0	0 %	0	0 %	7	9 %	12	8 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	0	0 %	0	0 %
12	設問2-10で「②～⑨」と回答した方にお聞きします。読書したきっかけを教えてください ※複数回答あり ※小学生については「読書に関する調査」より	①本屋さんで見つけた	29	4 %	103	14 %	139	46 %	79	50 %
		②学校の図書館で見つけた	398	59 %	390	53 %	33	11 %	19	12 %
		③会津図書館または公民館図書室で見つけた	78	12 %	59	8 %	11	4 %	4	3 %
		④新聞・雑誌・テレビで見つけた	5	1 %	8	1 %	9	3 %	9	6 %
		⑤教科書に載っていた	15	2 %	22	3 %	1	1 %	1	1 %
		⑥家族の紹介	55	8 %	40	5 %	21	7 %	6	4 %
		⑦先生の紹介	21	3 %	35	5 %	8	2 %	2	1 %
		⑧友達の紹介	32	5 %	42	6 %	35	12 %	14	9 %
		⑨その他	39	6 %	37	5 %	29	10 %	20	12 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	13	4 %	3	2 %
13	設問2-10で「②～⑨」と回答した方にお聞きします。本をどのようにして手に入れましたか ※複数回答あり ※小学生については「読書に関する調査」より	①学校の図書館から借りた	506	75 %	443	60 %	36	12 %	23	15 %
		②会津図書館または公民館図書室から借りた	71	11 %	59	8 %	8	2 %	7	5 %
		③友達から借りた	12	2 %	14	2 %	29	10 %	11	7 %
		④自分で買った	42	6 %	169	23 %	161	54 %	96	62 %
		⑤その他	41	6 %	51	7 %	44	15 %	14	9 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	20	7 %	3	2 %
14	設問2-13で「④」と回答した方にお聞きします。あなたが自分で買う書籍の費用は、1ヵ月当たり、平均しておおよそどのくらいですか (辞書や問題集・電子書籍は除く)	①1，000円未満					65	40 %	44	46 %
		②1，000円～2，000円					72	45 %	34	36 %
		③2，000円～3，000円					14	9 %	7	7 %
		④3，000円以上					6	4 %	5	5 %
		無回答					4	2 %	6	6 %
15	あなたは、どのような本を購入しますか ※複数回答あり	①マンガ					190	31 %	168	35 %
		②小説(読み物)					256	41 %	171	36 %
		③小説以外の文学(エッセイ、古典等)					21	3 %	19	4 %
		④実用書					34	6 %	27	6 %
		⑤雑誌					87	14 %	66	14 %
		⑥その他					14	2 %	7	1 %
		無回答					18	3 %	21	4 %
設問3 施設の利用		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	学校の図書室に、11月中に何回くらい行きましたか	①0回	26	6 %	98	21 %	226	63 %	230	80 %
		②1回	31	7 %	58	12 %	32	9 %	25	9 %
		③2回	41	9 %	93	20 %	29	8 %	16	5 %
		④3回	66	15 %	81	17 %	24	7 %	7	2 %
		⑤4回以上	252	57 %	137	29 %	41	12 %	8	3 %
		無回答	24	6 %	7	1 %	4	1 %	1	1 %

設問3　施設の利用		回答項目	小学2年生		小学5年生		中学2年生		高校2年生	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
2	学校図書室に望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	253	33 %	210	28 %	160	33 %	82	23 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと	70	9 %	46	6 %	35	7 %	33	9 %
		③本について相談できる人がいること	35	5 %	16	2 %	8	2 %	7	2 %
		④パソコンで本の検索ができること	233	30 %	217	29 %	76	16 %	28	8 %
		⑤学校の図書室の利用時間を増やすこと	89	12 %	77	10 %	31	6 %	33	9 %
		⑥今のままでよい	55	7 %	161	21 %	136	28 %	165	45 %
		⑦その他	25	3 %	20	3 %	20	4 %	6	2 %
		無回答	10	1 %	4	1 %	21	4 %	8	2 %
3	会津図書館に、11月中に何回くらい行きましたか	①0回	203	46 %	330	70 %	282	79 %	268	93 %
		②1回	72	16 %	50	10 %	27	8 %	12	4 %
		③2回	45	10 %	43	9 %	19	5 %	7	3 %
		④3回	40	9 %	23	5 %	11	3 %	0	0 %
		⑤4回以上	68	16 %	16	3 %	13	4 %	0	0 %
		無回答	12	3 %	12	3 %	4	1 %	0	0 %
4	会津図書館に望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	199	30 %	107	17 %	62	14 %	30	9 %
		②会津図書館のイベントがたくさんあること	164	25 %	58	10 %	16	4 %	8	2 %
		③本を読むための机・イスを増やすこと	83	12 %	67	11 %	29	7 %	30	9 %
		④電子書籍の導入					27	6 %	10	3 %
		⑤今のままでよい	108	16 %	245	40 %	101	24 %	74	23 %
		⑥行っていないので、分からない	81	12 %	111	18 %	155	36 %	160	49 %
		⑦その他	27	4 %	18	3 %	21	5 %	11	3 %
		無回答	7	1 %	7	1 %	18	4 %	7	2 %
5	地区の公民館図書室で本の貸出を行っていることを知っていますか	①はい	133	30 %	138	29 %	145	41 %	150	52 %
		②いいえ	300	68 %	331	70 %	207	58 %	135	47 %
		無回答	7	2 %	5	1 %	4	1 %	2	1 %
6	地区の公民館図書室に、11月中に何回くらい行きましたか	①0回	325	74 %	392	83 %	328	92 %	279	96 %
		②1回	55	13 %	36	8 %	9	3 %	3	1 %
		③2回	10	2 %	16	3 %	4	1 %	1	1 %
		④3回	16	4 %	11	2 %	5	1 %	0	0 %
		⑤4回以上	19	4 %	11	2 %	4	1 %	1	1 %
		無回答	15	3 %	8	2 %	6	2 %	3	1 %
7	地区の公民館図書室に望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	97	16 %	41	7 %	43	11 %	34	10 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと	48	8 %	29	5 %	16	4 %	15	5 %
		③本について相談できる人がいること	38	7 %	10	2 %	3	1 %	5	2 %
		④パソコンで本の検索ができること	108	18 %	56	10 %	19	5 %	6	2 %
		⑤今のままでよい	66	11 %	92	16 %	72	18 %	59	18 %
		⑥行っていないので、分からない	206	35 %	323	57 %	223	55 %	193	60 %
		⑦その他	20	3 %	9	2 %	9	2 %	2	1 %
		無回答	14	2 %	7	1 %	16	4 %	7	2 %
8	移動図書館（あいづね号）を知っていますか。 また、利用したことはありますか	①知っている・利用したことがある	103	23 %	127	27 %	81	23 %	24	8 %
		②知っている・利用したことはない	96	22 %	103	21 %	76	21 %	71	25 %
		③知らない	233	53 %	231	49 %	192	54 %	188	66 %
		無回答	8	2 %	13	3 %	7	2 %	4	1 %

子ども読書活動アンケート 【保護者】

設問1 保護者と子どもの読書関係		回答項目	園児保護者		小学2年生保護者		中学2年生保護者	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	アンケートに回答される保護者の方と子どもさんとの関係をお答えください ※複数回答あり	①父	14	9 %	36	9 %	28	11 %
		②母	143	90 %	356	89 %	208	86 %
		③祖母	1	1 %	5	1 %	3	1 %
		④祖父	0	0 %	0	0 %	1	1 %
		⑤その他の家族	0	0 %	2	1 %	3	1 %
		無回答	0	0 %	0	0 %	0	0 %
2	あなた(保護者の方)は普段、読書をしていますか	①はい	43	27 %	129	33 %	93	38 %
		②いいえ	113	72 %	260	65 %	146	60 %
		無回答	2	1 %	8	2 %	4	2 %
3	あなたのご家庭で、お子さんのために購入する本の1ヵ月当たりの平均費用は、おおよそどのくらいですか (辞書や問題集・電子書籍は除く)	①購入しない	30	19 %	116	29 %	68	28 %
		②1，000円未満	94	59 %	186	47 %	107	44 %
		③1，000円～2，000円	29	18 %	78	19 %	57	23 %
		④2，000円～3，000円	4	3 %	10	3 %	4	2 %
		⑤3，000円以上	0	0 %	4	1 %	4	2 %
		無回答	1	1 %	3	1 %	3	1 %
4	お子さんのために、どのような本を購入しますか ※複数回答あり	①マンガ	13	5 %	107	15 %	90	23 %
		②絵本	133	47 %	178	25 %	9	2 %
		③読み物(物語)	40	14 %	186	26 %	148	39 %
		④図鑑・実用書	55	19 %	145	20 %	22	6 %
		⑤雑誌	35	12 %	69	9 %	36	9 %
		⑥その他	4	1 %	19	2 %	56	15 %
		無回答	6	2 %	22	3 %	23	6 %
5	[園児・小学生] お子さんは、絵本を見ること(読んでもらうこと)が好きですか [中学生] お子さんは、読書が好きですか	①はい	144	91 %	275	69 %	109	45 %
		②いいえ	0	0 %	27	7 %	46	19 %
		③どちらともいえない	14	9 %	93	23 %	87	35 %
		無回答	0	0 %	2	1 %	1	1 %
6	お子さんに絵本の読み聞かせを始めたのは、生まれてからどのくらいの時期ですか	①0～3ヶ月	37	23 %	69	17 %	33	13 %
		②4～6ヶ月	33	21 %	102	25 %	62	25 %
		③7～11ヶ月	38	24 %	69	17 %	40	16 %
		④1歳	33	21 %	62	16 %	46	19 %
		⑤2歳	2	1 %	25	6 %	17	7 %
		⑥3歳	3	2 %	14	4 %	5	2 %
		⑦4歳以上	0	0 %	10	3 %	4	2 %
		⑧分からない	11	7 %	33	8 %	26	11 %
		⑨読んであげていない	1	1 %	10	3 %	9	4 %
		無回答	0	0 %	3	1 %	1	1 %
7	お子さんにどのくらい絵本を読んであげていますか	①読まない	19	12 %	223	56 %		
		②週1～2回読む	76	48 %	128	32 %		
		③週2～3回読む	31	20 %	24	6 %		
		④毎日読む	30	19 %	14	4 %		
		無回答	2	1 %	8	2 %		

8	本が好きな子どもに育てるために必要なことは何だと思いますか ※複数回答あり ※[中学生保護者 設問1-7]	①自由な時間があること	38	9 %	152	15 %	86	16 %
		②好きな絵本が幼稚園・保育園・学校にあること	77	18 %	159	16 %	93	17 %
		③好きな絵本が会津図書館や公民館図書室にあること	23	5 %	85	9 %	41	7 %
		④絵本を勧める家族や大人の存在	90	21 %	208	21 %	131	24 %
		⑤家族が読み聞かせをすること	134	31 %	179	18 %	69	13 %
		⑥テレビ、ゲーム、携帯の時間を減らすこと	53	12 %	170	17 %	102	19 %
		⑦その他	11	3 %	40	4 %	14	3 %
		無回答	2	1 %	4	0 %	2	1 %
9	「家読(うちどく)」という言葉を知っていますか ※[中学生保護者 設問1-8]	①はい	56	35 %	264	66 %	161	66 %
		②いいえ	101	64 %	126	32 %	82	34 %
		無回答	1	1 %	7	2 %	0	0 %
10	「家読(うちどく)」を11月の1ヵ月間に約何回、実践しましたか ※[中学生保護者 設問1-9]	①毎日	4	3 %	5	1 %	2	1 %
		②週1～2回	28	18 %	68	17 %	12	5 %
		③2回	18	11 %	52	13 %	20	8 %
		④1回	15	9 %	65	16 %	28	12 %
		⑤0回	87	55 %	199	51 %	171	70 %
		無回答	6	4 %	8	2 %	10	4 %

設問2 施設の利用		回答項目	園児保護者		小学2年生保護者		中学2年生保護者	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	学校図書室に望むことはありますか	①本の数・種類の充実			178	29 %	110	30 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと			15	2 %	13	4 %
		③本について相談できる人がいること			79	13 %	34	9 %
		④パソコンで本の検索ができること			53	9 %	46	13 %
		⑤学校の図書室の利用時間を増やすこと			163	27 %	82	23 %
		⑥今のままでよい			75	12 %	50	14 %
		⑦その他			30	5 %	16	4 %
		無回答			20	3 %	11	3 %
2	あなたは会津図書館に、11月の1ヵ月間に何回くらい行きましたか ※[園児保護者 設問2-1]	①0回	124	78 %	252	64 %	190	78 %
		②1回	9	6 %	53	13 %	21	9 %
		③2回	12	8 %	50	13 %	19	8 %
		④3回	8	5 %	21	5 %	8	3 %
		⑤4回以上	2	1 %	17	4 %	2	1 %
		無回答	3	2 %	4	1 %	3	1 %
3	子どもの読書環境のため、会津図書館に望むことはありますか ※複数回答あり ※[園児保護者 設問2-2]	①本の数・種類の充実	45	23 %	136	28 %	60	21 %
		②会津図書館のイベントがたくさんあること	35	18 %	84	17 %	23	8 %
		③電子書籍の導入					21	8 %
		④今のままでよい	26	13 %	123	25 %	75	27 %
		⑤行っていないので、分からない	67	34 %	91	19 %	75	27 %
		⑥その他	17	8 %	32	7 %	20	7 %
		無回答	8	4 %	20	4 %	5	2 %
4	地区の公民館図書室で本の貸出を行っていることを知っていますか ※[園児保護者 設問2-3]	①はい	96	61 %	236	59 %	165	68 %
		②いいえ	61	38 %	157	40 %	77	31 %
		無回答	1	1 %	4	1 %	1	1 %
5	地区の公民館図書館に、11月の1ヵ月間に何回くらい行きましたか ※[園児保護者 設問2-4]	①0回	150	94 %	367	93 %	233	95 %
		②1回	5	3 %	12	3 %	5	2 %
		③2回	0	0 %	7	1 %	1	1 %
		④3回	1	1 %	2	1 %	1	1 %
		⑤4回以上	1	1 %	3	1 %	0	0 %
		無回答	1	1 %	6	1 %	3	1 %

設問2　施設の利用		回答項目	園児保護者		小学2年生保護者		中学2年生保護者	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
6	子どもの読書環境のため、地区の公民館図書室に望むことはありますか ※複数回答あり ※[園児保護者 設問2-5]	①本の数・種類の充実	42	23 %	119	25 %	75	25 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと	8	4 %	26	6 %	17	6 %
		③本について相談できる人がいること	6	3 %	27	6 %	8	3 %
		④パソコンで本の検索ができること	8	4 %	25	5 %	26	9 %
		⑤今のままでよい	5	3 %	48	10 %	41	14 %
		⑥行っていないので、分からない	99	55 %	181	38 %	114	39 %
		⑦その他	7	4 %	25	5 %	7	2 %
		無回答	7	4 %	25	5 %	6	2 %
7	あなたは移動図書館（あいづね号）を知っていますか。また、利用したことはありますか ※[園児保護者 設問2-6]	①知っている・利用したことがある	15	10 %	67	17 %	36	15 %
		②知っている・利用したことはない	97	61 %	241	61 %	158	65 %
		③知らない	43	27 %	75	19 %	47	19 %
		無回答	3	2 %	14	3 %	2	1 %

子ども読書活動アンケート 【特別支援学級・支援学校】

学年	小学生（小学部）	135	58 %
	中学生（中学部）	58	25 %
	高校生（高等部）	39	17 %

設問1　本への興味		回答項目	回答数	割合
1	アンケートに回答される保護者の方と子どもさんとの関係をお答えください	①父	18	8 %
		②母	202	87 %
		③祖母	6	2 %
		④祖父	2	1 %
		⑤その他の家族	4	2 %
		無回答	0	0 %
2	お子さんは本を読むこと（または絵本を見る、読んでもらうこと）が好きですか	①好き	85	37 %
		②少し好き	72	31 %
		③あまり好きではない	60	26 %
		④嫌い	7	3 %
		⑤その他	6	2 %
		無回答	2	1 %
3	お子さんはどんな本が好きですか ※複数回答あり	①絵本や物語	114	40 %
		②伝記や歴史	26	9 %
		③社会・暮らしの本	12	4 %
		④理科・科学の本	22	8 %
		⑤図鑑	75	26 %
		⑥写真集	18	6 %
		⑦地図	12	4 %
		無回答	9	3 %
4	お子さんは、読んだ本について誰かに話しますか ※複数回答あり	①家族に話す	127	53 %
		②友達に話す	15	6 %
		③その他に話す	7	3 %
		④話さない	88	36 %
		無回答	4	2 %
5	あなたのご家庭で、お子さんのために購入する本の1ヵ月当たりの平均費用は、おおよそどのくらいですか （辞書や問題集・電子書籍は除く）	①購入しない	85	36 %
		②1，000円未満	107	46 %
		③1，000円～2，000円	32	14 %
		④2，000円～3，000円	5	2 %
		⑤3，000円以上	1	1 %
		無回答	2	1 %

設問2　保護者と子どもの読書関係		回答項目	回答数	割合
1	保護者の方は普段、読書をしていますか	①はい	73	31 %
		②いいえ	159	69 %
		無回答	0	0 %
2	保護者の方は普段、家でお子さんと一緒に本を読むこと、または読み聞かせをすることはありますか	①はい	74	32 %
		②いいえ	158	68 %
		無回答	0	0 %
3	お子さんに絵本の読み聞かせを始めたのは、生まれてからどのくらいの時期ですか	①0～3ヶ月	31	13 %
		②4～6ヶ月	43	18 %
		③7～11ヶ月	23	10 %
		④1歳	56	24 %
		⑤2歳	13	6 %
		⑥3歳	17	7 %
		⑦4歳以上	9	4 %
		⑧分からない	32	14 %
		⑨読んであげていない	7	3 %
		無回答	1	1 %
設問3　読書の環境・実態		回答項目	回答数	割合
1	お子さんが、週に「本を読む（または絵本を見る、読んでもらうことの）」回数は、どのくらいですか	①読まない	69	30 %
		②週1～2回読む	105	45 %
		③週3～4回読む	28	12 %
		④ほとんど毎日読む	28	12 %
		無回答	2	1 %
2	お子さんの土・日曜の1日に「本を読む（または絵本を見る、読んでもらうことの）」時間はおおよそどのくらいですか	①読まない	80	34 %
		②10分くらい	64	28 %
		③30分くらい	57	24 %
		④1時間くらい	22	9 %
		⑤1～2時間まで	6	3 %
		⑥2時間より多い	2	1 %
		無回答	1	1 %
3	お子さんの学校のある日の1日に「本を読む（または絵本を見る、読んでもらうことの）」時間はおおよそどのくらいですか	①読まない	92	40 %
		②10分くらい	91	39 %
		③30分くらい	33	14 %
		④1時間くらい	7	3 %
		⑤1～2時間まで	4	2 %
		⑥2時間より多い	0	0 %
		無回答	5	2 %
4	お子さんの土・日曜の1日に「テレビ・DVDを見る」時間はおおよそどのくらいですか	①見ない	7	3 %
		②10分くらい	2	1 %
		③30分くらい	9	4 %
		④1時間くらい	28	12 %
		⑤1～2時間まで	41	18 %
		⑥2～3時間まで	60	26 %
		⑦3～4時間まで	40	17 %
		⑧4時間より多い	42	18 %
		無回答	3	1 %

5	お子さんの学校のある日の1日に「テレビ・DVDを見る」時間はおおよそどのくらいですか	①見ない	12	5 %
		②10分くらい	6	3 %
		③30分くらい	25	11 %
		④1時間くらい	52	22 %
		⑤1～2時間まで	60	26 %
		⑥2～3時間まで	45	19 %
		⑦3～4時間まで	16	7 %
		⑧4時間より多い	14	6 %
		無回答	2	1 %
6	お子さんの土・日曜の1日の「携帯・スマートフォン・パソコン・ゲーム機(インターネット・メール・ライン・モバイルゲーム・ユーチューブなどのネット動画)の利用」時間はおおよそどのくらいですか	①利用しない	36	16 %
		②10分くらい	9	4 %
		③30分くらい	15	6 %
		④1時間くらい	23	10 %
		⑤1～2時間まで	37	16 %
		⑥2～3時間まで	42	18 %
		⑦3～4時間まで	30	13 %
		⑧4時間より多い	39	16 %
		無回答	1	1 %
設問3	読書の環境・実態	回答項目	回答数	割合
7	お子さんの学校のある日の1日の「携帯・スマートフォン・パソコン・ゲーム機(インターネット・メール・ライン・モバイルゲーム・ユーチューブなどのネット動画)の利用」時間はおおよそどのくらいですか	①利用しない	52	22 %
		②10分くらい	11	5 %
		③30分くらい	29	12 %
		④1時間くらい	40	17 %
		⑤1～2時間まで	48	21 %
		⑥2～3時間まで	32	14 %
		⑦3～4時間まで	11	5 %
		⑧4時間より多い	9	4 %
		無回答	0	0 %
8	本(または絵本)はお子さんの心を豊かに成長させてくれます。本を好きになる環境のため必要なことは何だと思いますか ※複数回答あり	①好きな絵本が幼稚園・保育園・学校等にあること	152	34 %
		②読みたい本について幼稚園・保育園・学校等において相談できる人がいること	44	10 %
		③読みたい本があるか学校・公民館図書室のパソコンで探すことができること	56	13 %
		④家族が読み聞かせをすること	117	27 %
		⑤読み聞かせをしてくれるボランティアがいること	47	11 %
		⑥その他	15	3 %
		無回答	9	2 %
設問4	施設の利用状況	回答項目	回答数	割合
1	お子さんは学校の図書室に、11月中に何回くらい行きましたか	①0回	112	48 %
		②1回	18	8 %
		③2回	17	7 %
		④3回	24	10 %
		⑤4回以上	36	16 %
		無回答	25	11 %

設問4	施設の利用状況	回答項目	回答数	割合
2	お子さんが学校図書室に望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	77	25 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと	9	3 %
		③本について相談できる人がいること	27	9 %
		④パソコンで本の検索ができること	33	11 %
		⑤学校の図書室の利用時間を増やすこと	47	15 %
		⑥今のままでよい	78	26 %
		⑦その他	6	2 %
		無回答	27	9 %
3	お子さんは、会津図書館がどこにあるか知っていますか	①はい	126	54 %
		②いいえ	104	45 %
		無回答	2	1 %
4	お子さんは会津図書館に、11月の1ヵ月間に何回くらい行きましたか	①0回	211	91 %
		②1回	10	4 %
		③2回	8	3 %
		④3回	2	1 %
		⑤4回以上	0	0 %
		無回答	1	1 %
5	ご家族の皆さんが、利用したいと思える会津図書館となるために、望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	60	21 %
		②会津図書館のイベントがたくさんあること	21	7 %
		③本を読むための机・イスを増やすこと	19	7 %
		④今のままでよい	52	18 %
		⑤行っていないので、分からない	88	31 %
		⑥その他	11	4 %
		無回答	35	12 %
6	お子さんは、地区の公民館図書室で本の貸出を行っていることを知っていますか	①はい	77	33 %
		②いいえ	152	66 %
		無回答	3	1 %
7	地区の公民館図書室に、11月の1ヵ月間に何回くらい行きましたか	①0回	222	95 %
		②1回	4	2 %
		③2回	0	0 %
		④3回	1	1 %
		⑤4回以上	0	0 %
		無回答	5	2 %
8	ご家族の方が地区の公民館図書室に望むことはありますか ※複数回答あり	①本の数・種類の充実	63	22 %
		②本を読むための机・イスを増やすこと	15	5 %
		③本について相談できる人がいること	14	5 %
		④パソコンで本の検索ができること	16	6 %
		⑤今のままでよい	35	13 %
		⑥行っていないので、分からない	119	42 %
		⑦その他	3	1 %
		無回答	16	6 %
9	お子さんは、移動図書館（あいづね号）を知っていますか。また、利用したことはありますか	①知っている・利用したことがある	44	19 %
		②知っている・利用したことはない	57	24 %
		③知らない	120	52 %
		無回答	11	5 %

【保護者の意見（抜粋）】

「本が好きな子どもに育てるために」・「子どもの読書推進のために必要なこと」

・小さいころから絵本を読んであげること
・子どもが手にとりやすい場所に本を置く／子どもが自由に本を読める環境
・家族で読書をして、本についての会話を増やす
・本屋や図書館などを積極的に利用し、本に触れる機会を意識して取り入れている。
・寝る前のよみきかせを習慣にしている。
・髪が長いので、乾かす間を読書の時間にしている。
・出かける時に本を持つ習慣をつけています。外食の時、食事を待つ時間、病院の待合室など、すき間の時間を活用しています。
・学習時間と読書時間を習慣化させること
・本人の好きな本を選ばせること／大人の考えを押し付けない
・興味がありそうな新聞記事などを読むようにすすめています。
・テレビをつけない時間／メディアコントロール週間の活用など
・親がまずスマホをいじらないこと

「学校図書館に望むこと」

・（小学）１・２年生でも本を借りられるようにしてほしい。
・図鑑を充実させてほしいです。
・本屋さんのようにオススメ書籍に読んだ人のコメントなどがあるといいと思う。
・司書の方が週１～２くらい居てほしいです。図書ボランティアの増員。
・（小）学校の先生が図書室に連れて行って、毎週本を借りる時間をつくってくれるので、借りてきたときは読んでいます。週１回が週２回になれば本を読む時間が増えると思います。
・新聞を置いて、いつでも読めるようにするのはどうでしょうか？
・親も自由に借りられるとよい。／父兄への紹介などで（学校図書館を）見せるのもよいかと思う。

「会津図書館に望むこと」

・DVDの昔話を借りたりする時がありますが、その近くに物語の本も置いてあると、もっと本に興味がわいてよいと思います。
・子どもが少しさわいだりしても大丈夫な部屋があったりすると周りに気をつかわず行きやすい
・移動図書館がどこで行われているのか知りたい。毎日忙しいので、行きたいが、行く時間がない。
・親の送迎無しで、子どもだけで行けるような交通手段
・駐車場の完全無料化（※現在は２時間まで無料）
・読書スペースの拡大（勉強以外で使用できるブースを増やす）
・大きな活字の本を増やしてほしい。

「地区公民館図書室に望むこと」

・省エネのため、電気がついていないため暗いから入りづらい雰囲気があり、子どもが行きたがらない。
・冬はあたたかくしてほしい。
・蔵書の種類など、リアルタイムにわからないと、なかなか足が向きません。
・本館で作成したライブラリーカードで貸出できるようにしてほしい。
・図書室のリフォーム（建物が古い）
・地区公民館がどの様なものかアピールしてほしい。
・中高生が自習できるスペースや、学習できる環境づくり

【障がいのある子どもと保護者の意見（抜粋）】

「子どもの読書推進のために必要なこと」

・読みたいと思った時に、すぐそばに本がある状態になっていること
・家族で読書をして、本についての会話を増やす

「学校図書館に望むこと」

・マンガなどで学べる本
・学校図書館には司書を置いて欲しい。誰かいることで図書館に行く理由にも。図書について相談すること、図書館が整理されていること、汚れている本がなく、読みやすくなること等にもなって、読書量が増えると思う。

「会津図書館に望むこと」

・マルチメディアデイジー図書／乗り物図鑑／大型絵本／冒険もの　（ほか多数）
・障がい児はどうしても声を出してしまったりするので、図書館を子連れで利用するのは気がひけてしまう。狭くても良いので個室で本を読める部屋がもっとたくさんあるとうれしい。
・本とふれあえるきっかけとなるイベント。遊び、食、なんでもいいと思います。

第三次会津若松市子ども読書活動推進計画

発行　令和３年３月

会津若松市

事務局　生涯学習総合センター
（会津若松市立会津図書館）
〒965-0871
会津若松市栄町３番５０号
電話　0242-22-4711